

資料 1



燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会
実行委員会

第9回 常任委員会 第7回 総会

書面開催

審議事項

燃ゆる感動 かごしま国体

燃ゆる感動 かごしま大会

スローガン

熱い鼓動 風は南から

目 次

○ 審議事項

第1号議案	令和2年度事業報告（案）及び収支決算（案）	-----	1
第2号議案	令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）	-----	11
第3号議案	特別国民体育大会の開催に向けた基本目標の改訂（案）	-----	17
第4号議案	特別国民体育大会 実施競技・種別，競技会場，競技会会期（案）	-----	40
第5号議案	特別全国障害者スポーツ大会 正式競技の追加	-----	46
第6号議案	「県民運動基本方針」及び「県民運動基本計画」の改訂（案）	-----	54
第7号議案	「広報基本方針」及び「広報基本計画」の改訂（案）	-----	66

第1号議案

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会 令和2年度事業報告（案）

「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会開催準備総合計画」（平成25年8月策定，令和2年3月改訂）及び令和5年の特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会開催に向けた「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会開催準備総合計画」（令和2年11月策定）に基づき，次の事業を実施し，円滑な準備業務に努めた。

1 開催準備の主要業務の推進

（1）総務関係

- ア 第75回国民体育大会・第20回全国障害者スポーツ大会の令和2年の開催の見送りの決定（令和2年6月19日）
- イ 文化プログラム事業の実施（令和2年1月1日～令和2年7月17日）
- ウ 来場者管理システム運用準備，一般観覧者募集ガイド・ポスターの版下作成（～令和2年7月2日）
- エ お問合せ窓口（コールセンター）設置準備（～令和2年7月6日）
- オ 特別国民体育大会の令和5年開催の決定書を受領（令和2年10月8日）
- カ 特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会開催に向けた開催準備総合計画の策定（令和2年11月16日）及び変更（令和3年3月31日）
- キ 特別国民体育大会開催に向けた基本目標の改訂検討
- ク 国体会期，大会会期の決定通知書を受領（令和3年3月10日）
 - ・ 特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」
令和5年10月7日（土）～17日（火）
 - ・ 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」
令和5年10月28日（土）～30日（月）

（2）競技関係【国体】

- ア 競技用具の整備等（陸上競技他）
- イ 競技役員等編成計画の変更
- ウ 特別国民体育大会実施競技，競技会会期等の実施受諾照会

（3）広報・県民運動関係【国体，大会】

- ア 広報活動
 - ① 当初活動予定していた広報活動
新型コロナウイルス感染症の影響や両大会の延期決定により中止・見送り
 - ② 令和5年開催決定に伴うロゴ・マスコットの改訂や印刷広報物等の再作成
 - ③ 開催気運再醸成の取組

- ・ 令和5年開催決定記念イベントの開催（令和2年10月）
- ・ 開催気運継続サイン装飾完成・協賛車両リニューアル披露セレモニーの開催（令和3年3月2日）
- ・ カウントダウンボードの再設置（令和3年3月）
- ④ 後催県交流事業の開始
- ⑤ 鹿児島・佐賀エールプロジェクトの推進
鹿児島・佐賀高校生プレゼン交流（令和3年3月14日）
鹿児島・佐賀キックオフ会（令和3年3月22日～23日）

イ 県民運動

- ① 運営ボランティア
 - ・ 運営ボランティア(国体1,700人, 大会3,500人)の募集
(～令和2年5月15日)
 - ・ 運営ボランティア基礎研修会の実施及び中止
(令和2年5月10日～6月27日 計11回実施, 7月4日以降 計7回中止)
 - ・ 運営ボランティア基礎研修会協力者感謝状贈呈式の開催
(令和2年10月26日)
- ② 総合案内所, おもてなし広場, 休憩所, ドリンクサービスの設置・運営の中止（令和2年6月19日）
- ③ 歓迎装飾, デザイン装花, 競技会場等への装花の中止（令和2年6月19日）
- ④ 都道府県応援団の実施の中止（令和2年6月19日）
- ⑤ 花いっぱい運動の事業の中止（令和2年6月19日）
- ⑥ 令和5年開催に向けた県民運動の取組
 - ・ 広報ボランティアによるPR活動の再開
 - ・ クリーンアップ運動・あいさつ運動の推進
 - ・ 「2023おもてなし隊」（県民運動参加団体）の募集再開
 - ・ 広報啓発グッズの制作

（4）式典関係【国体・大会】

- ア 式典運営, 演技及び音楽の準備, 式典練習会の実施準備(～令和2年6月22日)
- イ 式典各出演団体(107団体)への状況説明(令和2年11～12月)
- ウ 式典演出内容の再検討

（5）輸送・交通関係【国体・大会】

- ア 輸送本部の設置・運営の中止
- イ 開・閉会式輸送計画の策定の中止（令和2年6月19日）
- ウ 開・閉会式輸送計画の再検討

(6) 宿泊・衛生関係【国体・大会】

- ア 合同宿泊本部の運営の中止（令和2年6月19日）
- イ 標準献立の普及，弁当調達対策の中止（令和2年6月19日）
- ウ 救護本部設置・運営の中止（令和2年6月19日）
- エ 馬事衛生対策本部設置・運営の中止（令和2年6月19日）
- オ 配宿計画等の再検討
- カ 医療救護・各種衛生対策の再検討

(7) 警備・消防関係【国体・大会】

- ア 警備消防本部の設置・運営の中止（令和2年6月22日）
- イ 情報通信機器の整備・管理の中止（令和2年8月24日）

(8) 施設調整関係【国体・大会】

総合開・閉会式会場等会場設営，会場管理，撤去の中止（令和2年8月24日）

(9) 全国障害者スポーツ大会関係【大会】

※（1），（3）～（8），（10），（11）に含まれない業務

- ア 第20回全国障害者スポーツ大会の令和2年秋開催に向けた検討
- イ リハーサル大会の中止
- ウ 第20回全国障害者スポーツ大会の令和2年の開催見送りの決定
(令和2年6月19日)
- エ 特別全国障害者スポーツ大会の令和5年開催の決定（令和2年10月8日）
- オ 令和5年の大会開催に向けた諸準備再開
- カ 情報支援ボランティア及び選手団サポートボランティアの活動内容見直し

(10) 募金・企業協賛関係【国体・大会】

- ア 募集期間の延長に向けた諸手続
- イ 開催延期に伴う今後の募集方針の検討

(11) 補助事業関係

国体・大会における競技役員等養成事業の実施（補助事業）

- ① ソフトボール競技等6競技について，県内講習会等開催事業等を実施【国体】
 - ・ 中央講習会（相撲），開催準備事業（馬術）含める
- ② 本大会前に実施予定の役員等養成事業は全て中止【大会】

2 会議の開催

会議名	回	期日	主な内容
実行委員会 総会	第4回	令和2年 9月23日	・燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会の 開催時期の審議
	第5回	令和2年 11月2日 (書面開催)	・令和元年度事業報告(案)及び収支決算(案) ・燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会 実行委員会会則の改正(案) ・燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会 開催準備総合計画(案) ・令和2年度事業計画の変更(案)及び収支 予算の補正(案) の審議 <u>令和2年11月16日 可決</u>
	第6回	令和3年 1月19日 (書面開催)	・特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国 体」大会会期(案)の審議 <u>令和3年3月5日 可決</u>
実行委員会 常任委員会	第7回	令和2年 10月28日	・令和元年度事業報告(案)及び収支決算(案) ・燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会 実行委員会会則の改正(案) ・燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会 開催準備総合計画(案) ・令和2年度事業計画の変更(案)及び収支 予算の補正(案) ・燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会の 大会会期(案) の審議
	第8回	令和3年 3月24日 (書面開催)	・燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会 開催準備総合計画の変更(案) ・令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案) の審議 <u>令和3年3月30日 可決</u>

会議名		回	期日	主な内容
専 門 委 員 会	総務	第16回	令和3年 3月1日 (書面開催)	・特別国民体育大会開催に向けた基本目標(案) の審議 <u>令和3年3月12日 可決</u>
	広報・ 県民 運動	第13回	令和3年 3月12日 (書面開催)	・広報ボランティアの募集要項改訂(案)等 <u>令和3年3月22日 可決</u>
	宿泊・ 衛生	第7回	令和2年 6月9日 (書面開催)	・馬事衛生対策要項の改正(案) ・宿泊要項(国体・大会)の改正(案) <u>令和2年6月9日 可決</u>
	全国障 害者ス ポーツ 大会	第7回	令和2年 10月22日	・令和2年秋開催中止決定から令和5年開催 決定までの経緯 ・令和5年かごしま大会会期(案) ・令和5年かごしま大会開催準備総合計画(特 別全国障害者スポーツ大会)(案) ・今後のスケジュール ・引き続き会場地市となることのお願 いの説明
	競技	第17回	令和2年 10月15日 (書面開催)	・令和5年かごしま国体実施競技, 競技会場, 競技会会期(案)の審議 <u>令和2年10月15日 可決</u>
競技運 営連絡 会議 (国体)	第9回 (第10 回市町 村連絡 会議合 同開 催)	令和2年 10月21日	・総会・常任委員会等の今後のスケジュール ・実施方針(案) ①かごしま国体の会期(案) ②実施競技, 競技会場, 競技会会期(案) ・賞状・収納ケース等の取扱い ・競技用具等の取扱い ・競技別リハーサル大会 ・その他 ①かごしま国体・大会の2023年への開催延 期に伴い必要となる経費の補助(案) ②県民運動 ③ロゴマスコットキャラクターデザイン等 の今後の取扱い(案) ④かごしま国体・大会開催年決定に伴う炬 火リレーに係る今後の対応 の説明	

3 各種調査等の実施

区 分	調査時期	調査対象	調査内容
「燃ゆる感動かごしま国体」開催年度変更に伴う経費調査	令和2年11月	正式・特別競技会場 地市町村	開催年度変更に伴う必要な経費

4 関係機関・団体等との協議

(1) 開催延期，開催年決定に係る協議

内 容	期 日
鹿児島県知事と日本スポーツ協会会長とのweb会談	令和2年5月15日
鹿児島県知事と日本障がい者スポーツ協会会長とのweb会談	令和2年5月15日
鹿児島県知事とスポーツ長官とのweb会談	令和2年5月18日
開催延期に係る4者会談（日本スポーツ協会，日本障がい者スポーツ協会，スポーツ庁，鹿児島県）及び記者会見（当県web出席）	令和2年5月19日
※県議会スポーツ振興議員連盟 日本スポーツ協会等へ早期開催の要請	令和2年6月22日
鹿児島県知事と佐賀県知事との会談	令和2年7月31日
※県議会スポーツ振興議員連盟 佐賀県議会に協力要請	令和2年8月3日
鹿児島県知事と滋賀県知事とのweb会談	令和2年8月5日
※県議会スポーツ振興議員連盟 滋賀県議会に協力要請	令和2年8月7日
かごしま国体・大会の開催についての合意に係る4者会談及び記者会見（当県web出席）	令和2年9月25日
日本スポーツ協会第3回臨時理事会において，開催決定通知書受領	令和2年10月8日

(2) 公益財団法人日本スポーツ協会（国民体育大会委員会）

回	期 日
第1回	令和2年7月17日（web参加）
第2回	令和2年9月1日（書面開催）
第2回（臨時）	令和2年10月15日（web参加）
第3回	令和2年12月10日（web参加）
第3回（臨時）	令和3年2月1日（web参加）
第4回	令和3年3月4日（web参加）

(3) 国体開催県検討会議

回	期 日
第1回（幹事県：滋賀県）	令和2年8月（資料交換のみ）
第2回（幹事県：青森県）	令和3年1月13日（w e b参加及び資料交換）

(4) 開催地連絡協議会（国体），後催県報告会（大会）

かごしま国体・大会の延期のため，令和2年度での開催中止

余白

**燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会
令和2年度収支決算(案)**

1 収入

(単位:円)

科目	最終予算額 (a)	決算額 (b)	差額 (b)-(a)	備考
負担金	296,440,000	298,528,000	2,088,000	鹿児島県負担金
諸収入	29,965,000	30,103,532	138,532	合同配宿市町村負担金, 預金利息など
標章等使用料収入	17,000	17,422	422	
募金収入	5,294,000	5,527,283	233,283	
企業協賛収入	27,000,000	27,500,000	500,000	
繰越金	118,705,000	118,705,358	358	前年度繰越金
合計	477,421,000	480,381,595	2,960,595	

2 支出

(単位:円)

科目	最終予算額 (c)	決算額 (d)	差額 (c)-(d)	備考	
事業費	総務費	10,795,000	10,518,708	276,292	来場者管理システムの運用準備, 総会の開催など
	競技費	745,000	190,102	554,898	延期後の国体に向けた開催準備
	広報・県民運動費	39,949,000	36,486,906	3,462,094	ロゴマスコットの改訂及び印刷広報物等費用など
	式典費	49,324,000	49,114,624	209,376	式典運営, 演技及び音楽の準備, 式典演出の再検討など
	輸送・交通費	50,496,000	50,094,711	401,289	輸送実施計画の策定, 開・閉会式輸送計画の再検討など
	宿泊・衛生費	36,230,000	35,845,999	384,001	配宿計画の再検討など
	施設調整費	7,442,000	6,597,373	844,627	開・閉会式会場等会場設営, 会場管理, 撤去など
	警備・消防費	0	0	0	
	全国障害者スポーツ大会費	85,294,000	84,049,782	1,244,218	延期後の大会に向けた開催準備など
	寄附金	30,324,000	30,341,054	▲ 17,054	県の国体・大会施設整備等基金への寄付
協賛金事業	78,821,000	2,160,040	76,660,960	PR広告など	
補助事業費	1,716,000	536,146	1,179,854	競技役員等の養成	
事務局費	82,785,000	70,177,391	12,607,609	実行委員会職員の給与, 事務局運営経費など	
予備費	3,500,000	0	3,500,000		
合計	477,421,000	376,112,836	101,308,164		

収入決算額(b) 支出決算額(d) 差引残額(次年度繰越)
 480,381,595 円 - 376,112,836 円 = 104,268,759 円

監 査 報 告 書

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会会則第7条第4項の規定に基づき、令和2年度の収支決算案に関する証拠書類及び関係諸帳簿を監査したところ、すべて適正に処理されていることを認める。

令和 3 年 5 月 10 日

監 事 鹿 児 島 県 市 長 会 事 務 局 長 岸 尾 隆 

令和 3 年 5 月 10 日

監 事 鹿 児 島 県 町 村 会 事 務 局 長 大 柳 俊 一 

令和 3 年 4 月 28 日

監 事 鹿 児 島 県 会 計 管 理 者 (兼) 出 納 局 長 片 平 洋 一 

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会 令和3年度事業計画（案）

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の令和5年開催に向けた「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会開催準備総合計画」（令和2年11月策定，令和3年3月改訂）に基づき，令和3年度事業計画を次のとおり定める。

1 開催準備の主要業務の推進

（1）総務関係

- ア 特別国民体育大会開催に向けた基本目標の策定【国体】
- イ 文化プログラム実施基本方針の改訂【国体，大会】
- ウ 大会役員編成基準及び総合開・閉会等への招待者の範囲の再検討【国体】
日本スポーツ協会と協議の上，大会役員編成基準（案）の決定，招待者の範囲の報告（令和4年3月予定） など

（2）競技関係【国体】

- ア 実施競技，競技会場，競技会会期の決定
日本スポーツ協会へ本県案の提出及び決定（令和3年6月予定）
- イ 競技役員等編成計画の見直し
- ウ 競技役員等養成事業の推進
- エ 競技会役員編成基準の検討
日本スポーツ協会へ報告（令和4年3月予定）
- オ 競技別リハーサル大会の認定
- カ 自衛隊協力要請計画の策定（リハーサル大会，本大会）

（3）広報・県民運動関係【国体，大会】

- ア 広報活動
 - ① 広報基本方針，基本計画の改訂
 - ② 公式ポスターの配布
 - ③ かごしま国体・大会パンフレットの配布
 - ④ 広報紙の発行，ホームページ・SNS（随時更新），メディア等を活用した広報活動の推進
 - ⑤ 各種イベントと連携したPR活動の推進
 - ・ PR用ポスター・パネルの展示，チラシ・広報グッズ等の配布
 - ・ マスコットキャラクターやロゴデザイン，イメージソング・ダンスを活用したPR
 - ⑥ 後催県交流事業の推進
 - ⑦ 鹿児島・佐賀エールプロジェクトの推進
- イ 県民運動
 - ① 県民運動基本方針，県民運動基本計画，県民運動プログラムの改訂
 - ② 運営ボランティア募集要項の改訂
 - ③ 花いっぱい運動の推進
 - ・ 「花育てリレー」の実施（4月～10月 約4,300株）
 - ・ 花育て教室の開催（5月～8月 県内7地区），花種子の配布（4月～8月 約16,000袋）
 - ④ おもてなし広場基本計画の改訂

- ⑤ 総合案内所基本計画の改訂
- ⑥ 「ゆめ～KIBAIYANSE～ダンス」講習会の開催（6月～8月 県内7地区）
- ⑦ 「2023おもてなし隊」（県民運動参加団体）の募集・登録
- ⑧ 広報ボランティアによるPR活動

(4) 式典関係【国体, 大会】

- 式典演出の検討・推進
- ① 式典プログラムの再検討
- ② 集団演技, 式典音楽の再検討

(5) 輸送・交通関係【国体, 大会】

- ア 総合開・閉会式輸送計画の再検討
- イ 関係機関との協力体制整備・調整

(6) 宿泊・衛生関係【国体, 大会】

- ア 宿泊関連業務の推進
- ① 宿泊施設等調査
- ② 宿泊施設客室提供依頼
- イ 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン（仮称）の策定
- ウ 医療救護, 各種衛生対策の推進

(7) 警備・消防関係【国体, 大会】

- ア 関係機関との協力体制整備・調整
- イ 自主警備業務実施計画の再検討
- ウ 消防防災業務実施計画の再検討
- エ 大規模災害・突発重大事案対策業務実施計画の再検討
- オ 会場管理運営要綱の再検討

(8) 全国障害者スポーツ大会関係【大会】

- (1), (3)～(7), (9), (10)に含まれない業務
- ア バリアフリー（ソフト面）推進資料の周知, 障害や障害者スポーツの理解促進
- イ 情報支援ボランティア再募集の検討, 配置計画の再検討, 協力意向調査等
- ウ 選手団サポートボランティア養成協力校の再委嘱, 養成カリキュラムの作成
- エ 競技別会期決定
- オ オープン競技の再検討（会場, 実施体制等）
- カ 競技役員・補助員編成計画の再検討

(9) 募金（目標4億円）・企業協賛（目標1億円）関係【国体, 大会】

- ア 企業等訪問, チラシ配布等による募金・企業協賛の募集
- イ 企業協賛に係る契約書の作成等
- ウ 募金者に対する感謝状・謝礼品の作成・交付

(10) 補助事業関係

- ア 国体・大会における競技役員等養成事業（補助事業）【国体, 大会】
 - ① 中央講習会等派遣事業
国体・大会に必要な審判員などの競技役員等を養成するため, 中央（又はブロック）の競技団体が実施する講習会・審査会等への派遣に対する補助
 - ② 県内講習会等開催事業
国体・大会に必要な審判員などの競技役員等を養成するため, 中央・ブロック・県内から講師を招いた講習会・審査会等の開催に対する補助
- イ 大規模スポーツ大会誘致事業（補助事業）【国体】
全国レベル以上及びトップアスリートが参加するハイレベルな大会の開催経費の補助

2 各種会議の開催

	会 議 名	開 催 日 (予定)
実行委員会	総会	令和3年5月下旬
	常任委員会	令和3年5月下旬, 令和3年11月下旬, 令和4年3月下旬
	募金・企業協賛推進委員会	令和3年4月～令和4年3月 (適宜)
	各専門委員会・同部会	令和3年4月～令和4年3月 (適宜)
その他	市町村連絡会議 (国体・大会)	令和3年6月頃, 11月頃 (年2回程度)
	競技運営連絡会議 (国体)	令和3年11月頃 (年1回程度)
	宿泊輸送説明会 (国体・大会)	令和3年9月頃
	競技別連絡調整会議 (大会)	令和3年6月頃, 11月頃, 令和4年1月頃 (年3回程度)
	競技運営連絡会議 (大会)	令和3年4月22日 (木)
	情報支援ボランティア養成連絡会議	令和4年3月頃
	選手団サポートボランティア養成協力校連絡会議	時期未定 (年1～2回程度)

3 各種調査等の実施

(1) 各種調査

	調 査 項 目	調査対象	調 査 内 容
国体	競技会運営経費調査 (第四次)	会場地市町村	競技会実施の準備, 運営に要する経費
	おもてなし経費調査 (第四次)	会場地市町村	正式競技, 特別競技, デモスポにおけるおもてなし運営経費
	競技役員等編成・養成状況調査 (第六次)	競技団体・会場地市町村	正式競技, 特別競技の競技役員等の編成, 養成状況
	競技別リハーサル大会運営経費ヒアリング (第四次)	会場地市町村	競技別リハーサル大会実施の準備, 運営に要する経費
大会	参加意向調査 (第三次)	各都道府県及び政令指定都市	参加に関する希望
	宿泊意向調査 (第三次)	各都道府県及び政令指定都市	宿泊に関する希望
	利用交通機関意向調査 (第三次)	各都道府県及び政令指定都市	利用交通機関に関する希望
	競技役員等編成・養成三次調査	競技団体	競技役員等の必要数, 養成計画
大会	競技用具整備三次調査	競技団体	競技用具の必要数・現有数

(2) 先催県視察

視 察 先	大 会 名	期 日
第76回国民体育大会「三重とこわか国体」	会期前大会	令和3年9月4日～12日
	本大会	令和3年9月25日～10月5日
第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」	リハーサル大会	令和3年5月23日～6月20日
	本大会	令和3年10月23日～25日
第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」	リハーサル大会	検討中

※ 三重とこわか国体・大会は, 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開・閉会式の参加人数を縮小。

4 各種会議への出席

会 議 名	開催地	開催日 (予定)
日本スポーツ協会国民体育大会委員会	東京都	令和3年6, 8, 12月, 令和4年3月
国民体育大会開催県検討会議	青森県	令和3年5月下旬頃 (web開催)
	宮崎県	令和4年2月頃
第76回国民体育大会開催地連絡会議	三重県	令和3年11月頃
第21回全国障害者スポーツ大会後催県報告会	三重県	令和3年11月頃

余白

**燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会
令和3年度収支予算(案)**

1 収入

(単位:千円)

科目	令和3年度 予算額(a)	令和2年度 最終予算額(b)	増減 (a)-(b)	備考
負担金	133,899	296,440	▲ 162,541	鹿児島県負担金
諸収入	50	29,965	▲ 29,915	実行委員会職員雇用保険料(本人負担分), 預金利息
標章等使用料収入	200	17	183	
募金収入	10,000	5,294	4,706	
企業協賛収入	30,000	27,000	3,000	
繰越金	104,268	118,705	▲ 14,437	前年度繰越金
合計	278,417	477,421	▲ 199,004	

2 支出

(単位:千円)

科目	令和3年度 予算額(c)	令和2年度 最終予算額(d)	増減 (c)-(d)	備考	
事業費	総務費	4,915	10,795	▲ 5,880	総会等各種会議の開催, 先催県視察など
	競技費	2,332	745	1,587	競技団体等との連絡調整など
	広報・県民運動費	17,996	39,949	▲ 21,953	後催県との交流推進, 花いっぱい運動の推進など
	式典費	8,823	49,324	▲ 40,501	式典内容等の見直し検討
	輸送・交通費	1,705	50,496	▲ 48,791	先催県視察, 専門委員会の開催など
	宿泊・衛生費	2,324	36,230	▲ 33,906	先催県視察, 専門委員会の開催など
	施設調整費	1,503	7,442	▲ 5,939	先催県視察など
	警備・消防費	38	0	38	専門委員会の開催
	全国障害者スポーツ大会費	11,750	85,294	▲ 73,544	各ボランティア活動内容見直し, 会場の追加・変更への検討など
	寄附金	10,355	30,324	▲ 19,969	県の国体・大会施設整備等基金への寄付
協賛金事業	3,389	78,821	▲ 75,432	広報紙やHPIによるPR, 節目イベントの開催	
補助事業費	43,348	1,716	41,632	大規模スポーツ大会の誘致, 競技役員等の養成	
事務局費	39,215	82,785	▲ 43,570	実行委員会職員の給与, 事務局運営経費など	
予備費	130,724	3,500	127,224		
合計	278,417	477,421	▲ 199,004		

余白

特別国民体育大会の開催に向けた基本目標の改訂

○ 特別国民体育大会開催に至る経緯と今後の取組について

第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年秋の開催を見送り、令和5年に「特別国民体育大会」（以下、「特別国体」という）としてかごしま国体を開催することとなったことから、燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会において、平成27年5月に策定した「第75回国民体育大会開催基本構想」の基本目標を実現するための取組について、必要な見直しを行うこととした。

令和5年のかごしま国体は、「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴するスポーツ大会として開催し、県民はもとより、全国の皆様にとっても素晴らしい、思い出に残る希望に満ちた国体となるよう、以下のように改訂し、国体開催に向けた準備及び大会運営の指針とする。

1 基本目標(案)(鹿児島が目指す国体)

「力みなぎる・かごしま」の多彩な魅力を 全国に発信する国体

1
コロナ禍からの
再生と飛躍を
象徴する国体

2
県民が夢と
希望を持ち心
に残る国体

3
スポーツの
普及・振興を
図る国体

4
簡素・効率化を
図る国体

5
鹿児島の魅力
を発信する
国体

1 コロナ禍からの再生と 飛躍を象徴する国体

- (1) 後催県への感謝と交流の推進
- (2) 特別国体としての新たな価値の創出
- (3) 国体から国民スポーツ大会へつなぐ取組
- (4) 国体開催による経済浮揚の取組

2 県民が夢と希望を持ち 心に残る国体

- (1) 県民総参加の取組
- (2) ボランティアの育成
- (3) 開催気運の再醸成
- (4) 脱炭素化及び環境への配慮

3 スポーツの普及・振興 を図る国体

- (1) 選手強化等の推進
- (2) 全県を挙げた協力体制
- (3) 国体を契機とした継続的なスポーツ振興
- (4) 障害者スポーツの普及と環境整備

4 簡素・効率化を図る国 体

- (1) 既存施設等の有効活用
- (2) 幅広い募金活動の展開や民間企業とのタイアップ
- (3) ボランティアの協力
- (4) 全国障害者スポーツ大会の開催

5 鹿児島の魅力を発信 する国体

- (1) 総合開・閉会式の創意工夫
- (2) まごころのこもったおもてなしや 交流の促進
- (3) 広報活動の推進
- (4) 観光関連団体等との連携

余白

特別国体開催に向けた基本目標について（改訂案） 新旧対照表

※ 変更力所は、下線部分

改訂前（2020第75回国体）	改訂後（2023特別国体）
(該当項目なし)	<p><u>特別国民体育大会開催に向けた基本目標について</u></p> <p>○ <u>特別国民体育大会開催に至る経緯と今後の取組について</u></p> <p><u>かごしま国体とかごしま大会（以下、「両大会」という。）については、令和2年6月19日に日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会、スポーツ庁及び本県による4者協議を行い、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年秋には開催せず、具体的な開催時期については、引き続き、調整・検討を継続することを決定しました。</u></p> <p><u>また、令和2年6月22日に開催した4者協議において、できるだけ早期の開催を県民が待ち望んでいることや、後催県の準備状況、新型コロナウイルスの収束時期などを総合的に勘案し、3年後の令和5年の開催に向けて調整する方針を確認しました。</u></p> <p><u>その後、この方針に基づき、佐賀県や滋賀県など後催県との協議等を経て、かごしま国体については、令和2年10月8日に開催された日本スポーツ協会臨時理事会において、令和5年に「特別国民体育大会」として開催することが決定され、また、かごしま大会についても、同年に「特別全国障害者スポーツ大会」として、開催することとなりました。</u></p> <p><u>両大会の開催決定に当たっては、日本スポーツ協会や日本障がい者スポーツ協会、スポーツ庁、また佐賀県や滋賀県など後催県の皆様方に、多大な御理解・御協力をいただきました。</u></p> <p><u>令和5年の両大会については、県民や市町村、競技団体等とも連携の上、スポーツをはじめとする後催県との人的交流の展開等により、開催気運の再醸成を図りながら、県民はもとより、全国の皆様にとっても素晴らしい、思い出に残る希望に満ちた大会となるよう着実に取組を進め、「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴するスポーツ大会を目指します。</u></p> <p><u>このような経緯等を踏まえ、「特別国民体育大会」の開催準備及び大会運営について、第75回国体大会開催基本構想（平成27年5月決定）における基本目標を実現するための取組の一部を見直します。</u></p>

第2章 基本目標（鹿児島が目指す国体）

基本目標

「力みなぎる・かごしま」の多彩な魅力を全国に発信する国体

平成32年の鹿児島国体において、県民総参加のもと、鹿児島らしさを生かした国体となるように『力みなぎる・かごしま』の多彩な魅力を全国に発信する国体」を基本目標として定めます。また、基本目標の実現に向けて、次の5つの項目を大きな柱として様々な取組を行います。

(新規追加項目)

1 県民が夢と希望を持ち心に残る国体

県民が国体開催に向けて総力を結集し、相互の連帯感や郷土意識を高めるとともに、環境に配慮した大会運営を行い、国体後も明るく豊かで力みなぎる鹿児島づくりにつながる夢と希望のある大会を目指します。

2 スポーツの普及・振興を図る国体

国体を一過性のスポーツイベントに終わらせず、国体開催を契機として県民の積極的なスポーツ活動への参加やスポーツ水準の向上など、広くスポーツを普及・振興し、県民の健康増進や体力向上を図るとともに、スポーツを生かした地域づくりを推進します。

3 簡素・効率化を図る国体

近年の経済状況や日体協が進める国体改革の趣旨等を踏まえ、県内の既存施設の有効活用やボランティアスタッフによる協力など大会運営の簡素・効率化を図り、人的・財政的負担が過重にならないよう配慮します。

第1章 基本目標（鹿児島が目指す国体）

基本目標

「力みなぎる・かごしま」の多彩な魅力を全国に発信する国体

かごしま国体は、県民総参加のもと、鹿児島らしさを生かした国体となるように『力みなぎる・かごしま』の多彩な魅力を全国に発信する国体」を基本目標として定めます。

基本目標の実現に向けては、次の5つの項目を大きな柱として様々な取組を行います。

1 コロナ禍からの再生と飛躍を象徴する国体

「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴するスポーツ大会として、全国の皆様に感謝の気持ちを伝えるとともに、後催県とのスポーツ等を通じた人的交流等を推進することにより、国民体育大会から国民スポーツ大会へのかけはしとなるよう、素晴らしい、思い出に残る希望に満ちたかごしま国体の開催を目指します。

2 県民が夢と希望を持ち心に残る国体

県民が国体開催に向けて総力を結集し、相互の連帯感や郷土意識を高めるとともに、環境に配慮した大会運営を行い、国体後も明るく豊かで力みなぎる鹿児島づくりにつながる夢と希望のある国体を目指します。

3 スポーツの普及・振興を図る国体

国体を一過性のスポーツイベントに終わらせず、国体開催を契機として県民の積極的なスポーツ活動への参加やスポーツ水準の向上など、広くスポーツを普及・振興し、県民の健康増進や体力向上を図るとともに、スポーツを生かした地域づくりを推進します。

4 簡素・効率化を図る国体

近年の経済状況や日本スポーツ協会が進める国体改革の趣旨等を踏まえ、県内の既存施設の有効活用やボランティアスタッフによる協力など大会運営の簡素・効率化を図り、人的・財政的負担が過重にならないよう配慮します。

4 鹿児島魅力を発信する国体
 鹿児島のすばらしさを感じることのできる
 ような心のこもったおもてなしをするとともに、美しく雄大な自然や豊かな食文化、先人より受け継いできた文化や伝統など、鹿児島の誇れる魅力を全国に発信します。

5 東京オリンピックイヤーにふさわしい国体
 国民のスポーツに対する関心が一層の高まりを見せる中で迎える国内最大のスポーツの祭典として、東京オリンピックイヤーにふさわしい鹿児島国体の開催を目指します。

5 鹿児島魅力を発信する国体
 鹿児島の素晴らしさを感じることのできる
 ようなまごころのこもったおもてなしをするとともに、美しく雄大な自然や豊かな食文化、先人より受け継いできた文化や伝統など、鹿児島の多彩な魅力を全国に発信します。

(削除項目)

※ かごしま国体は、令和5年に延期して開催することになり、東京オリンピックと同年開催ではなくなったため、項目から削除する。

第3章 基本目標を実現するための取組

(新規追加項目)

第2章 基本目標を実現するための取組

1 コロナ禍からの再生と飛躍を象徴する国体

(1) 後催県への感謝と交流の推進

・ かごしま国体の令和5年開催決定に当たり、後催県に多大な御理解と御協力をいただいたことを踏まえ、様々な機会を通じて感謝の意を表明するとともに、後催県とのスポーツ等を通じた人的交流等の実施により開催気運の再醸成や競技力向上の推進を図ります。

(2) 特別国体としての新たな価値の創出

・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和5年に「特別国体」として開催することとなったかごしま国体は、「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴するスポーツ大会として開催し、県民はもとより、全国の皆様にとっても素晴らしい、思い出に残る希望に満ちた国体となるよう成功を目指します。

・ 国体の開催期間中、参加する選手や来場者等が大勢訪れることから、大規模災害や突発事故、傷病、感染症などの発生に備え、集積した知見をもとに、危機管理体制を構築するなど、各種計画を策定・運用し、安全・安心な大会運営に努めます。

(3) 国体から国民スポーツ大会へつなぐ取組

・ これまで開催された国体運営の取組や国体の感動と興奮を引き継ぎ、世界的に広く用いられている「スポーツ」の語を用いた国民

1 県民が夢と希望を持ち心に残る国体

(1) 県民総参加の取組

・ 開催競技（正式競技，特別競技，公開競技，デモンストラーションスポーツ）を離島を含めた県内各地域で開催し，県民の鹿児島国体への参加機会をより多く設けるとともに，ボランティア活動や県民運動などの様々な取組を展開し，県民総参加の取組を推進します。

・ 競技会場や沿道，街並みなどを花いっぱいに彩るとともに，地域や学校などで，手づくりののぼり旗や案内看板などを作成するなど，来県者を心のこもったおもてなしでお迎えします。

・ 子どもからお年寄りまで，多くの県民が参加できる炬火イベントとなるように，創意工夫を凝らして開催します。

(2) ボランティアの育成

・ 学校や NPO 法人，企業，各種団体等と協力し，ボランティアの育成に努めます。

・ 共生・協働による温もりのある地域社会づくりの一環として，ボランティア活動を促進するなど，県民がボランティアとして鹿児島

スポーツ大会として初めて開催される「SAGA2024国民スポーツ大会(佐賀国スポ)」へのかけはしとなる国体を目指します。

・ 九州で2年連続開催となる「かごしま国体」と「佐賀国スポ」を「双子の大会」と位置づけ，佐賀県との連携により，スポーツをはじめとした様々な交流を行うプロジェクト（通称「エールプロジェクト」）を推進し，両県の関係深化を図りながら，「かごしま国体」と「佐賀国スポ」を両県民で応援し，盛り上げていきます。

(4) 国体開催による経済浮揚の取組

・ 令和5年のかごしま国体開催につながる全国大会レベルの大規模スポーツ大会の本県への誘致に取り組み，宿泊・交通・飲食などの観光消費需要の喚起による経済効果の誘発を図ります。

2 県民が夢と希望を持ち心に残る国体

(1) 県民総参加の取組

・ 各種競技（正式競技・特別競技・公開競技・デモンストラーションスポーツ）を全43市町村で実施し，広く県民の間にスポーツを普及するとともに，競技運営やボランティアなどの県民の参加機会をより多く設け，県民総参加の取組を推進します。

・ 競技会場や沿道，街並みなどを花いっぱいに彩るとともに，地域や学校などで，手づくりののぼり旗や案内看板などを作成するなど，来県者をまごころのこもったおもてなしでお迎えします。

・ 多くの県民，特に子ども達の参加のもと，全市町村を巡る炬火リレーを実施し，県民の記憶に残る，県民総参加の取組を推進します。

・ 各競技会における競技補助員や総合開閉会式の式典演技，音楽等の出演者として，次世代を担う多くの子ども達の参加に努めます。

(2) ボランティアの育成

・ 学校や NPO 法人，企業，各種団体等と協力し，ボランティアの育成に努めます。

・ 共生・協働による温もりのある地域社会づくりの一環として，ボランティア活動を促進するなど，県民がボランティアとしてかご

<p><u>島</u>国体に参加しやすい環境づくりに努めます。</p> <p>(3) 開催気運の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>鹿児島</u>国体の開催意義を広く県民に周知するため効果的な広報活動を実施し、<u>鹿児島</u>国体への参加意識の高揚を図ります。 ・ <u>鹿児島</u>国体を象徴し、<u>広く県民に愛されるような愛称やスローガン、マスコット等を</u>制定し、<u>その普及を図ることにより、鹿児島</u>国体開催の気運を醸成します。 ・ <u>鹿児島</u>国体開催までの節目において、<u>啓発イベントを開催するとともに、県民運動や各種イベントと連携した広報活動を実施</u>します。 <p>(4) <u>低炭素化及び環境への配慮</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大会関連施設・設備の整備に当たり、<u>省エネ製品の導入など低炭素化を進めるとともに、マイカー自粛や公共交通機関の利用促進、再生可能エネルギーの活用など地球にやさしい国体を目指</u>します。 ・ <u>グリーン購入など環境に優しい製品の利用を推奨し、できる限りゴミ等の廃棄物の発生を抑制する</u>など、人と地球にやさしい国体運営に努めます。 ・ <u>省資源・省エネルギーに努め、リユースやリサイクルなど3R（Reduce「発生抑制」、Reuse「再使用」、Recycle「再生利用」）を推進</u>します。 	<p><u>しま</u>国体に参加しやすい環境づくりに努めます。</p> <p>(3) 開催気運の<u>再</u>醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>かごしま</u>国体の開催意義を広く県民に周知するため効果的な広報活動を実施し、<u>かごしま</u>国体への参加意識の高揚を図ります。 ・ <u>かごしま</u>国体を象徴する愛称やスローガン、マスコット等の<u>更なる普及</u>を図ることにより、<u>かごしま</u>国体開催の気運を<u>再</u>醸成します。 ・ <u>県民運動や文化・芸術行事、各種イベント等とも連携し、かごしま</u>国体開催までの<u>節目など様々な機会を捉えて</u>広報活動を実施します。 <p>(4) <u>脱炭素化及び環境への配慮</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大会関連施設・設備の整備に当たり、<u>省エネ製品の導入、マイカー自粛や公共交通機関の利用促進、再生可能エネルギーの活用など脱炭素化の取組を進め、地球にやさしい国体を目指</u>します。 ・ <u>グリーン購入など環境に優しい製品の利用を推奨し、できる限りゴミ等の廃棄物の発生を抑制する</u>など、人と地球にやさしい国体運営に努めます。 ・ <u>省資源・省エネルギーに努め、リユースやリサイクルなど3R（Reduce「発生抑制」、Reuse「再使用」、Recycle「再生利用」）を推進</u>します。
<p><u>2</u> スポーツの普及・振興を図る国体</p> <p>(1) <u>地元選手の育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>開催県として天皇杯・皇后杯の獲得を目指し、指導者の養成・確保、ジュニアから成年選手の育成・強化等、総合的な競技力向上対策を計画的に推進し、本県選手の育成・強化を図ります。</u> ・ <u>より一層の競技力向上を図るために、次世代を担う選手の発掘・育成・強化を図ります。</u> ・ <u>ジュニアから成年までの競技力向上を図るために、指導者の計画的な養成及び資質の向上を図り、競技団体ごとの一貫指導体制や、競技を越えた強化ネットワークを構築</u>します。 ・ <u>各競技団体と連携して、競技役員等を計</u> 	<p><u>3</u> スポーツの普及・振興を図る国体</p> <p>(1) <u>選手強化等の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>開催県として天皇杯・皇后杯を目指し、体力や技術・戦術、コンディショニングなど多角的な視点から組織的に選手強化を推進</u>します。 ・ <u>最強布陣の編成を目指し、新たなターゲットエイジの発掘・育成・強化及びふるさと選手や強化指導員など有力選手の確保・強化を推進</u>します。 ・ <u>活躍が期待できる有望なジュニア選手に本県代表としての自覚を促すとともに、競技力向上への意欲を喚起</u>します。 ・ <u>各競技団体と連携して、競技役員等の養</u>

<p><u>画的に育成し、各競技会を円滑に運営します。</u></p> <p>(2) <u>総力を結集した「チームかごしま」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 各競技団体において監督、コーチ、スポーツドクター、トレーナー等の強化スタッフをシステム化し「チームかごしま」づくりの支援を行います。 強化指定チーム・選手を対象に合宿や練習会等を実施し、技術・体力の向上はもとより、「チームかごしま」としての自覚と意欲を促し、一丸となって、鹿児島国体に臨みます。 <p>(3) 国体を契機とした継続的なスポーツ振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技会場地市町村では、開催競技のスポーツ教室などを開催し、開催競技の普及・定着を図るとともに、地域の日常的なスポーツの場の提供に努め、スポーツを生かした地域づくりを推進します。 多くの県民が気軽に参加できるスポーツ教室や体験教室などの各種スポーツイベントを実施し、それぞれの関心や適性に応じて、主体的にスポーツに親しむ生涯スポーツを推進します。 本県の温暖な気候等を生かし、県内外の競技者やチームのスポーツ合宿（スポーツキャンプ）を積極的に誘致し、競技力向上の環境づくりを推進します。 <p>(4) 障害者スポーツの普及と環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 国体と併せて、国内最大の障害者スポーツの祭典である「全国障害者スポーツ大会」を開催することにより、県民の障害者スポーツ活動への関心や理解を深めるとともに、障害者が興味・関心に応じてスポーツに親しむことのできる環境整備に努めます。 	<p><u>成・確保に努め、各競技会を円滑に運営します。</u></p> <p>(2) <u>全県を挙げた協力体制</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 県スポーツ協会や競技団体、市町村、学校団体（中・高体連）、大学などとの連携をより一層推進し、かごしま国体に臨みます。 強化指導員等の選手と競技会場地住民との交流機会を設けるなどして、地域との絆を再醸成し、選手のモチベーションの向上や競技会場のホーム感の創出につなげます。 <p>(3) 国体を契機とした継続的なスポーツ振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技会場地市町村では、開催競技のスポーツ教室などを開催し、開催競技の普及・定着を図るとともに、地域の日常的なスポーツの場の提供に努め、スポーツを生かした地域づくりを推進します。 多くの県民が気軽に参加できるスポーツ教室や体験教室などの各種スポーツイベントを実施し、それぞれの関心や適性に応じて、主体的にスポーツに親しむ生涯スポーツを推進します。 本県の温暖な気候等を生かし、県内外の競技者やチームのスポーツ合宿（スポーツキャンプ）を積極的に誘致し、競技力向上の環境づくりを推進します。 <p>(4) 障害者スポーツの普及と環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 国体と併せて、障害者スポーツの全国的な祭典である「全国障害者スポーツ大会」を開催することにより、県民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与するとともに、障害者が興味・関心に応じてスポーツに親しむことのできる環境整備に努めます。
<p><u>3 簡素・効率化を図る国体</u></p> <p>(1) 既存施設等の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技施設は、<u>県内の既存施設を活用することを基本とし、改修に当たっては、子どもから高齢者、障害者などにも配慮した整備を進めます。</u> <u>先催県や後催県等と連携を図り、共通して使用することが可能な設備、競技用具につ</u> 	<p><u>4 簡素・効率化を図る国体</u></p> <p>(1) 既存施設等の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技施設は、<u>これまで子どもから高齢者、障害者などにも配慮して改修を行った県内の既存施設の有効活用を基本とします。</u> <u>競技用具については、これまで整備したものを活用し、国体終了後、一部の競技用具</u>

いては、借用や共同購入を行うなど、経費の削減に努めます。

(2) 総合開会式・閉会式の創意工夫

・ 総合開会式・閉会式は、簡素な中にも、鹿児島のすばらしさを感じることができ、参加する者同士の絆が深まる式典になるように創意工夫を凝らします。

(3) 幅広い募金活動の展開や民間企業とのタイアップ

・ オフィシャルスポンサー等の協賛企業による支援体制を充実させ、地元企業をはじめとした民間活力の導入に努めます。また、県民の理解と賛同による国体募金活動を推進します。

(4) ボランティアの協力

・ 総合開会式・閉会式や各競技会場での運営や案内業務などにおいて、県民にボランティアスタッフとしての協力を得ることとします。

(5) 全国障害者スポーツ大会の開催

・ 国体終了後に開催される全国障害者スポーツ大会について、施設整備、輸送交通、宿泊等の面で、国体開催と連動した準備・運営を行います。

4 鹿児島の魅力を発信する国体

※ 3-(2)から移動

(1) 心のこもったおもてなしや交流の促進

・ 県民一人一人が、郷土の自然環境、歴史・文化、食など鹿児島らしい魅力を再認識し、各競技会場地での「まごころ」のこもったおもてなしを行い、地域住民と参加選手をはじめとする来場者との交流を深め、鹿児島の魅力の発信に努めます。

・ 本県選手団の応援はもとより、他都道府県応援団を組織し、鹿児島国体に参加した選手全員を応援するなど、大会全体を盛り上げ

について、後催県への売却を行うなど、経費の節減を図ります。

※ 5-(1)へ移動

(2) 幅広い募金活動の展開や民間企業とのタイアップ

・ オフィシャルスポンサー等の協賛企業による支援体制を充実させ、地元企業をはじめとした民間活力の導入に努めます。また、県民の理解と賛同による国体募金活動（ぐりぶーファミリー募金）を推進します。

(3) ボランティアの協力

・ 総合開・閉会式や各競技会場での運営や案内業務などにおいて、県民にボランティアスタッフとしての協力を得ることとします。

(4) 全国障害者スポーツ大会の開催

・ 国体終了後に開催される全国障害者スポーツ大会について、施設整備、輸送交通、宿泊等の面で、国体開催と連携した準備・運営を行います。

5 鹿児島の魅力を発信する国体

(1) 総合開・閉会式の創意工夫

・ 総合開・閉会式は、鹿児島の多彩な魅力を全国に発信するとともに、コロナ禍からの再生と飛躍を象徴する内容となるよう、創意工夫を凝らします。

(2) まごころのこもったおもてなしや交流の促進

・ 県民一人一人が、郷土の自然環境、歴史・文化、食など鹿児島らしい魅力を再認識し、各競技会場地でまごころのこもったおもてなしを行い、地域住民と参加選手をはじめとする来場者との交流を深めるなど、鹿児島の魅力の発信に努めます。

・ 本県選手団の応援はもとより、他都道府県応援団を組織し、かごしま国体に参加した選手全員を応援するなど、大会全体を盛り上

るとともに、県民のあたたかいおもてなしの心を全国に伝えます。

(2) 広報活動の推進

・ インターネットやテレビ、ラジオ、新聞、情報誌、広報紙など様々なメディアを活用して広報活動を積極的かつ効果的に行い、県内外に鹿児島国体の開催に向けた情報を発信します。

(3) 観光関連団体等との連携

・ 観光関連団体等と連携して、地域の持つ豊かな自然・歴史・文化・食などの資源と鹿児島国体の観戦をセットにした広域観光ルートの設定や観光キャンペーン、イベント等の実施を推進します。

・ 競技会場地市町村等の特産品の知名度アップと販売促進を図り、鹿児島の魅力^{を全国にPR}します。

・ 障害者団体等と連携して、競技会場等での授産製品の販売など、障害者がおもてなしに参加できる取組を推進します。

(4) 文化プログラムの充実

・ 鹿児島国体の文化プログラムとして、鹿児島の誇る文化や伝統などをはじめとする文化・芸術に関する展示やイベント等を開催することにより、より多くの県民に鹿児島国体参加への気運醸成を図るとともに、文化や芸術の魅力発信に努めます。

げるとともに、県民のあたたかいおもてなしの心を全国に伝えます。

(3) 広報活動の推進

・ インターネットやテレビ、ラジオ、新聞、情報誌、広報紙など様々なメディアを活用して広報活動を積極的かつ効果的に行い、県内外にかごしま国体の情報を発信します。

(4) 観光関連団体等との連携

・ かごしま国体開催の機会を捉え、観光関連団体等との連携により、来県者等への観光情報の効果的な提供や特産品の知名度アップと販売促進を図り、鹿児島の多彩な魅力^{を全国に発信}します。

・ 障害者団体等と連携して、競技会場等での授産製品の販売など、障害者がおもてなしに参加できる取組を推進します。

(削除項目)

※ 文化プログラムは、開催県における国体開催の気運醸成や国体の目的や意義の全国的な普及啓発等を目的としている。そこで、文化プログラムについては、その趣旨を踏まえ、項目2-(3)及び5-(2)において、推進することとする。

5 東京オリンピックイヤーにふさわしい国体

(1) 鹿児島県選手の活躍・支援

・ 鹿児島国体へ向けた選手強化では、東京オリンピック出場やメダル獲得など、高い目標を持って取り組む選手を育てます。

(2) 東京オリンピックとの連携

・ 東京オリンピック事前合宿の本県の競技会場地市町村等への招致に努め、県民の東京オリンピックや国体に対する気運の醸成を図ります。

(3) 東京オリンピック選手の国体への出場や参加

・ 鹿児島国体において、東京オリンピック

(削除項目)

※ かがしま国体は、令和5年に延期して開催することになり、東京オリンピックと同年開催ではなくなったため、項目から削除する。

で活躍した選手の競技会への出場やスポーツイベント等への参加を促すことにより、県民にオリンピックの感動と興奮を伝えるとともに、直接、選手たちとふれあえる機会の提供に努めます。

(4) 東京オリンピックの展示ブースの設置

・ 東京オリンピックの日本選手の活躍を伝える写真やウェア等を展示するなど、東京オリンピックの感動と興奮を伝えます。

余白

特別国民体育大会開催に向けた基本目標(案)

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」

Special National Sports Festival



燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会

目次

特別国民体育大会開催に向けた基本目標について	1
○ 特別国民体育大会開催に至る経緯と今後の取組について	
第1章 基本目標(鹿児島が目指す国体)	2
「力みなぎる・かごしま」の多彩な魅力を全国に発信する国体	
第2章 基本目標を実現するための取組	
1 コロナ禍からの再生と飛躍を象徴する国体	3
(1) 後催県への感謝と交流の推進	
(2) 特別国体としての新たな価値の創出	
(3) 国体から国民スポーツ大会へつなぐ取組	
(4) 国体開催による経済浮揚の取組	
2 県民が夢と希望を持ち心に残る国体	4
(1) 県民総参加の取組	
(2) ボランティアの育成	
(3) 開催気運の再醸成	
(4) 脱炭素化及び環境への配慮	
3 スポーツの普及・振興を図る国体	5
(1) 選手強化等の推進	
(2) 全県を挙げた協力体制	
(3) 国体を契機とした継続的なスポーツ振興	
(4) 障害者スポーツの普及と環境整備	
4 簡素・効率化を図る国体	6
(1) 既存施設等の有効活用	
(2) 幅広い募金活動の展開や民間企業とのタイアップ	
(3) ボランティアの協力	
(4) 全国障害者スポーツ大会の開催	
5 鹿児島の魅力を発信する国体	7
(1) 総合開・閉会式の創意工夫	
(2) まごころのこもったおもてなしや交流の促進	
(3) 広報活動の推進	
(4) 観光関連団体等との連携	

特別国民体育大会開催に向けた基本目標について

○ 特別国民体育大会開催に至る経緯と今後の取組について

かごしま国体とかごしま大会（以下、「両大会」という。）については、令和2年6月19日に日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会、スポーツ庁及び本県による4者協議を行い、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年秋には開催せず、具体的な開催時期については、引き続き、調整・検討を継続することを決定しました。

また、令和2年6月22日に開催した4者協議において、できるだけ早期の開催を県民が待ち望んでいることや、後催県の準備状況、新型コロナウイルスの収束時期などを総合的に勘案し、3年後の令和5年の開催に向けて調整する方針を確認しました。

その後、この方針に基づき、佐賀県や滋賀県など後催県との協議等を経て、かごしま国体については、令和2年10月8日に開催された日本スポーツ協会臨時理事会において、令和5年に「特別国民体育大会」として開催することが決定され、また、かごしま大会についても、同年に「特別全国障害者スポーツ大会」として、開催することとなりました。

両大会の開催決定に当たっては、日本スポーツ協会や日本障がい者スポーツ協会、スポーツ庁、また佐賀県や滋賀県など後催県の皆様方に、多大な御理解・御協力をいただきました。

令和5年の両大会については、県民や市町村、競技団体等とも連携の上、スポーツをはじめとする後催県との人的交流の展開等により、開催気運の再醸成を図りながら、県民はもとより、全国の皆様にとっても素晴らしい、思い出に残る希望に満ちた大会となるよう着実に取組を進め、「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴するスポーツ大会を目指します。

このような経緯等を踏まえ、「特別国民体育大会」の開催準備及び大会運営について、第75回国民体育大会開催基本構想（平成27年5月決定）における基本目標を実現するための取組の一部を見直します。

第1章 基本目標（鹿児島が目指す国体）

基本目標

「力みなぎる・かごしま」の多彩な魅力を全国に発信する国体

かごしま国体は、県民総参加のもと、鹿児島らしさを生かした国体となるように『力みなぎる・かごしま』の多彩な魅力を全国に発信する国体を基本目標として定めます。基本目標の実現に向けては、次の5つの項目を大きな柱として様々な取組を行います。

1 コロナ禍からの再生と飛躍を象徴する国体

「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴するスポーツ大会として、全国の皆様に感謝の気持ちを伝えるとともに、後催県とのスポーツ等を通じた人的交流等を推進することにより、国民体育大会から国民スポーツ大会へのかけはしとなるよう、素晴らしい、思い出に残る希望に満ちたかごしま国体の開催を目指します。

2 県民が夢と希望を持ち心に残る国体

県民が国体開催に向けて総力を結集し、相互の連帯感や郷土意識を高めるとともに、環境に配慮した大会運営を行い、国体後も明るく豊かで力みなぎる鹿児島づくりにつながる夢と希望のある国体を目指します。

3 スポーツの普及・振興を図る国体

国体を一過性のスポーツイベントに終わらせず、国体開催を契機として県民の積極的なスポーツ活動への参加やスポーツ水準の向上など、広くスポーツを普及・振興し、県民の健康増進や体力向上を図るとともに、スポーツを生かした地域づくりを推進します。

4 簡素・効率化を図る国体

近年の経済状況や日本スポーツ協会が進める国体改革の趣旨等を踏まえ、県内の既存施設の有効活用やボランティアスタッフによる協力など大会運営の簡素・効率化を図り、人的・財政的負担が過重にならないよう配慮します。

5 鹿児島の魅力を発信する国体

鹿児島の素晴らしさを感じることのできるようなまごころのこもったおもてなしをするとともに、美しく雄大な自然や豊かな食文化、先人より受け継いできた文化や伝統など、鹿児島の多彩な魅力を全国に発信します。

第2章 基本目標を実現するための取組

1 コロナ禍からの再生と飛躍を象徴する国体

(1) 後催県への感謝と交流の推進

- ・ かがしま国体の令和5年開催決定に当たり、後催県に多大な御理解と御協力をいただいたことを踏まえ、様々な機会を通じて感謝の意を表明するとともに、後催県とのスポーツ等を通じた人的交流等の実施により開催気運の再醸成や競技力向上の推進を図ります。

(2) 特別国体としての新たな価値の創出

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和5年に「特別国体」として開催することとなったかがしま国体は、「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴するスポーツ大会として開催し、県民はもとより、全国の皆様にとっても素晴らしい、思い出に残る希望に満ちた国体となるよう成功を目指します。
- ・ 国体の開催期間中、参加する選手や来場者等が大勢訪れることから、大規模災害や突発事故、傷病、感染症などの発生に備え、集積した知見をもとに、危機管理体制を構築するなど、各種計画を策定・運用し、安全・安心な大会運営に努めます。

(3) 国体から国民スポーツ大会へつなぐ取組

- ・ これまで開催された国体運営の取組や国体の感動と興奮を引き継ぎ、世界的に広く用いられている「スポーツ」の語を用いた国民スポーツ大会として初めて開催される「SAGA2024国民スポーツ大会（佐賀国スポ）」へのかけはしとなる国体を目指します。
- ・ 九州で2年連続開催となる「かがしま国体」と「佐賀国スポ」を「双子の大会」と位置づけ、佐賀県との連携により、スポーツをはじめとした様々な交流を行うプロジェクト（通称「エールプロジェクト」）を推進し、両県の関係深化を図りながら、「かがしま国体」と「佐賀国スポ」を両県民で応援し、盛り上げていきます。

(4) 国体開催による経済浮揚の取組

- ・ 令和5年のかがしま国体開催につながる全国大会レベルの大規模スポーツ大会の本県への誘致に取り組み、宿泊・交通・飲食などの観光消費需要の喚起による経済効果の誘発を図ります。

2 県民が夢と希望を持ち心に残る国体

(1) 県民総参加の取組

- ・ 各種競技（正式競技・特別競技・公開競技・デモンストレーションスポーツ）を全43市町村で実施し，広く県民の間にスポーツを普及するとともに，競技運営やボランティアなどの県民の参加機会をより多く設け，県民総参加の取組を推進します。
- ・ 競技会場や沿道，街並みなどを花いっぱいに彩るとともに，地域や学校などで，手づくりののぼり旗や案内看板などを作成するなど，来県者をまごころのこもったおもてなしでお迎えします。
- ・ 多くの県民，特に子ども達の参加のもと，全市町村を巡る炬火きよかリレーを実施し，県民の記憶に残る，県民総参加の取組を推進します。
- ・ 各競技会における競技補助員や総合開・閉会式の式典演技，音楽等の出演者として，次世代を担う多くの子ども達の参加に努めます。

(2) ボランティアの育成

- ・ 学校やNPO法人，企業，各種団体等と協力し，ボランティアの育成に努めます。
- ・ 共生・協働による温もりのある地域社会づくりの一環として，ボランティア活動を促進するなど，県民がボランティアとしてかごしま国体に参加しやすい環境づくりに努めます。

(3) 開催気運の再醸成

- ・ かごしま国体の開催意義を広く県民に周知するため効果的な広報活動を実施し，かごしま国体への参加意識の高揚を図ります。
- ・ かごしま国体を象徴する愛称やスローガン，マスコット等の更なる普及を図ることにより，かごしま国体開催の気運を再醸成します。
- ・ 県民運動や文化・芸術行事，各種イベント等とも連携し，かごしま国体開催までの様々な機会を捉えて広報活動を実施します。

(4) 脱炭素化及び環境への配慮

- ・ 大会関連施設・設備の整備に当たり，省エネ製品の導入，マイカー自粛や公共交通機関の利用促進，再生可能エネルギーの活用など脱炭素化の取組を進め，地球にやさしい国体を目指します。
- ・ グリーン購入など環境に優しい製品の利用を推奨し，できる限りゴミ等の廃棄物の発生を抑制するなど，人と地球にやさしい国体運営に努めます。
- ・ 省資源・省エネルギーに努め，リユースやリサイクルなど3R（Reduce「発生抑制」，Reuse「再使用」，Recycle「再生利用」）を推進します。

3 スポーツの普及・振興を図る国体

(1) 選手強化等の推進

- ・ 開催県として天皇杯・皇后杯を目指し、体力や技術・戦術、コンディショニングなど多角的な視点から組織的に選手強化を推進します。
- ・ 最強布陣の編成を目指し、新たなターゲットエイジの発掘・育成・強化及びふるさと選手や強化指導員など有力選手の確保・強化を推進します。
- ・ 活躍が期待できる有望なジュニア選手に本県代表としての自覚を促すとともに、競技力向上への意欲を喚起します。
- ・ 各競技団体と連携して、競技役員等の養成・確保に努め、各競技会を円滑に運営します。

(2) 全県を挙げた協力体制

- ・ 県スポーツ協会や競技団体、市町村、学校団体（中・高体連）、大学などとの連携をより一層推進し、かごしま国体に臨みます。
- ・ 強化指導員等の選手と競技会場地住民との交流機会を設けるなどして、地域との絆を再醸成し、選手のモチベーションの向上や競技会場のホーム感の創出につなげます。

(3) 国体を契機とした継続的なスポーツ振興

- ・ 競技会場地市町村では、開催競技のスポーツ教室などを開催し、開催競技の普及・定着を図るとともに、地域の日常的なスポーツの場の提供に努め、スポーツを生かした地域づくりを推進します。
- ・ 多くの県民が気軽に参加できるスポーツ教室や体験教室などの各種スポーツイベントを実施し、それぞれの関心や適性に応じて、主体的にスポーツに親しむ生涯スポーツを推進します。
- ・ 本県の温暖な気候等を生かし、県内外の競技者やチームのスポーツ合宿（スポーツキャンプ）を積極的に誘致し、競技力向上の環境づくりを推進します。

(4) 障害者スポーツの普及と環境整備

- ・ 国体と併せて、障害者スポーツの全国的な祭典である「全国障害者スポーツ大会」を開催することにより、県民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与するとともに、障害者が興味・関心に応じてスポーツに親しむことのできる環境整備に努めます。

4 簡素・効率化を図る国体

(1) 既存施設等の有効活用

- ・ 競技施設は、これまで子どもから高齢者、障害者などにも配慮して改修を行った県内の既存施設の有効活用を基本とします。
- ・ 競技用具については、これまで整備したものを活用し、国体終了後、一部の競技用具について、後催県への売却を行うなど、経費の節減を図ります。

(2) 幅広い募金活動の展開や民間企業とのタイアップ

- ・ オフィシャルスポンサー等の協賛企業による支援体制を充実させ、地元企業をはじめとした民間活力の導入に努めます。また、県民の理解と賛同による国体募金活動（ぐりぶーファミリー募金）を推進します。

(3) ボランティアの協力

- ・ 総合開・閉会式や各競技会場での運営や案内業務などにおいて、県民にボランティアスタッフとしての協力を得ることとします。

(4) 全国障害者スポーツ大会の開催

- ・ 国体終了後に開催される全国障害者スポーツ大会について、施設整備、輸送交通、宿泊等の面で、国体開催と連携した準備・運営を行います。

5 鹿児島県の魅力を発信する国体

(1) 総合開・閉会式の創意工夫

- ・ 総合開・閉会式は、鹿児島県の多彩な魅力を全国に発信するとともに、コロナ禍からの再生と飛躍を象徴する内容となるよう、創意工夫を凝らします。

(2) まごころのこもったおもてなしや交流の促進

- ・ 県民一人一人が、郷土の自然環境、歴史・文化、食など鹿児島らしい魅力を再認識し、各競技会場でまごころのこもったおもてなしを行い、地域住民と参加選手をはじめとする来場者との交流を深めるなど、鹿児島県の魅力の発信に努めます。
- ・ 本県選手団の応援はもとより、他都道府県応援団を組織し、かごしま国体に参加した選手全員を応援するなど、大会全体を盛り上げるとともに、県民のあたたかいおもてなしの心を全国に伝えます。

(3) 広報活動の推進

- ・ インターネットやテレビ、ラジオ、新聞、情報誌、広報紙など様々なメディアを活用して広報活動を積極的かつ効果的に行い、県内外にかごしま国体の情報を発信します。

(4) 観光関連団体等との連携

- ・ かごしま国体開催の機会を捉え、観光関連団体等との連携により、来県者等への観光情報の効果的な提供や特産品の知名度アップと販売促進を図り、鹿児島県の多彩な魅力を全国に発信します。
- ・ 障害者団体等と連携して、競技会場等での授産製品の販売など、障害者がおもてなしに参加できる取組を推進します。

余白

特別国民体育大会 実施競技・種別，競技会場，競技会会期（案）について

1 実施競技等の基本方針

2023年かごしま国体の実施競技・種別，競技会場，競技会会期については，2020年かごしま国体の実施内容を基本として調整すること（R2.10.15 第17回競技専門委員会）として，令和2年10月21日開催の第9回競技運営連絡会議にて市町村・競技団体へ説明。

一部競技について，会場や会期の調整の必要性が生じたため，県，会場地市町村，県競技団体の3者で協議し，調整を図った。

2 2020年かごしま国体からの変更点

(1) 実施競技・種別

2020年かごしま国体の実施競技・種別を基本として，令和2年10月15日に日本スポーツ協会臨時国体委員会で示された実施競技・種目・種別等変更の考え方に基づき，以下の競技について変更。

競技名	変更内容
サッカー	成年男子，少年男子， 女子 ⇒ 成年男子，少年男子， 少年女子
ライフル射撃	Mix 種目導入
高等学校野球	参加県数の減，競技会日程の変更（4日間→3日間）

(2) 競技会場

① 相撲競技

競技名	会場地 市町村	競技会場名	
		(旧)	(新)
相撲	奄美市	奄美体験交流館	奄美市名瀬運動公園サンドーム

【変更理由】

新型コロナウイルス感染症対策の観点から，競技会場における3密を避け，選手をはじめとする全ての参加者の感染防止を図るため，奄美体験交流館から一定の密を解消できる奄美市名瀬運動公園サンドームへ会場変更するもの。

② 弓道競技

競技名	会場地 市町村	競技会場名	
		(旧)	(新)
弓道	出水市	<遠的> 出水市陸上競技場特設遠的会場	出水市総合運動公園特設弓道会場
		<近的> マルマエスポーツセンター出水 特設近的会場	

【変更理由】

遠的会場であった出水市陸上競技場が改修に伴い使用できなくなるとともに，遠的・近的について効率的な運営を図る観点から，両種目を出水市総合運動公園多目的広場へ会場変更するもの。

(3) 競技会会期

正式競技

<本大会会期内での変更>

① ホッケー競技, ウエイトリフティング競技

競技名	会場地 市町村	競技日程	
		(旧)	(新)
ホッケー	薩摩川内市	令和5年10月12日(木)～16日(月)	令和5年10月8日(日)～12日(木)
ウエイトリフティング		令和5年10月8日(日)～12日(木)	令和5年10月12日(木)～16日(月)
【変更理由】 ウエイトリフティング競技とホッケー競技の会期を入れ替えることで、ウエイトリフティング競技の広域配宿を解消するもの。			

<会期前への変更>

② レスリング競技

競技名	会場地 市町村	競技日程	
		(旧)	(新)
レスリング	日置市	令和5年10月8日(日)～11日(水)	令和5年9月21日(木)～24日(日) ※ 会期前実施
【変更理由】 本大会の会期内から会期前へ変更することで、広域配宿を解消するもの。			

③ ゴルフ競技

競技名	会場地 市町村	競技日程	
		(旧)	(新)
ゴルフ	霧島市 始良市	令和5年10月11日(水)～13日(金)	令和5年9月20日(水)～22日(金) ※ 会期前実施
【変更理由】 日本ゴルフ協会の主要事業である日本オープンの日程と重なったことから、トップアマ選手(例年7名程度)の国体への出場機会を確保するもの。			

公開競技

① パワーリフティング競技

競技名	会場地 市町村	競技日程	
		(旧)	(新)
パワーリフティング	知名町	令和5年8月18日(金)～20日(日)	令和5年9月22日(金)～24日(日)
【変更理由】 東京2020オリンピック・パラリンピック日程の関係で8月開催としていたが、例年9月に開催されているため変更するもの。			

3 今後のスケジュール

令和3年6月10日

日本スポーツ協会令和3年度第1回国体委員会 審議・決定

特別国民体育大会 実施競技・種別、競技会場、競技会会期事務局案

：2020年国体からの変更箇所

式典	会場地	式典会場	競技日程													
			10月													
			7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火			
総合開会式	鹿児島市	白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)	●													
総合閉会式																

正式競技

競技名	種別	会場地	競技会場	競技日程														
				10月														
				7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火				
陸上競技	全種別	鹿児島市	白波スタジアム(鹿児島県立鴨池陸上競技場)															
サッカー	成年男子	志布志市	志布志運動公園陸上競技場							●		●	●					
			しおかぜ公園多目的広場							●	●							
	少年男子	南さつま市	OSAKO YUYA stadium							●	●		●	●				
			加世田運動公園多目的広場							●	●	●						
			吹上浜海浜公園運動広場							●	●	●						
	少年女子	霧島市	国分運動公園陸上競技場								●		●	●				
国分運動公園多目的広場										●	●							
			まきのほら運動公園多目的広場								●	●						
テニス	成年男女	鹿児島市	東開庭球場		●	●	●	●										
	少年男女		鹿児島県立鴨池庭球場		●	●	●	●										
ホッケー	全種別	薩摩川内市	丸山自然公園人工芝コート 薩摩川内市樋脇屋外人芝競技場		●	●	●	●	●									
ボクシング	成年男子	阿久根市	阿久根総合運動公園総合体育館		●	●	●	●	●									
	少年男子				●	●	●	●	●									
	成年女子				●	●	●	●	●									
バレーボール	6人制	成年男子	いちき串木野市	いちき串木野市総合体育館		●	●	●	●									
		成年女子	鹿屋市	平和公園串良平和アリーナ		●	●	●	●									
		少年男子	鹿児島市	南栄リース桜島アリーナ(桜島総合体育館)		●	●	●										
		少年女子		西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)		●	●	●	●									
				西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)		●	●	●	●									
バスケットボール	成年男子	始良市	始良市総合運動公園体育館							●	●	●	●					
	成年女子		始良市総合運動公園体育館									●	●					
			始良市蒲生体育館(おおくすアリーナ)								●	●						
	少年男子	薩摩川内市	薩摩川内市総合運動公園総合体育館(サンアリーナせんだい)							●	●	●	●	●				
少年女子	いちき串木野市	いちき串木野市総合体育館							●	●	●	●	●					
セーリング	全種別	鹿児島市	鹿児島市平川特設セーリング会場		●	●	●	●										
ウエイトリフティング	成年男子	薩摩川内市	薩摩川内市入来総合運動場体育館							●	●	●	●	●				
	少年男子																	
	女子																	
ハンドボール	全種別	霧島市	霧島市国分体育館		●	●	●	●	●									
			霧島市溝辺体育館		●	●	●	●	●									
			霧島市横川体育館		●	●	●											
			霧島市隼人体育館		●	●												
			霧島市立国分中央高等学校精華アリーナ		●	●												
自転車	ロード・レース	成年男子	錦江町	大隅広域特設ロード・レースコース														
		少年男子	鹿屋市															
		女子	肝付町															
			南大隅町															
	トラック・レース	成年男子	南大隅町	鹿児島県根占自転車競技場					●	●	●	●						
		少年男子							●	●	●	●						
		女子																
ソフトテニス	全種別	鹿児島市	東開庭球場								●	●	●	●				
卓球	全種別	鹿児島市	あいハウジングアリーナ松元(松元平野岡体育館)							●	●	●	●	●				
軟式野球	成年男子	鹿児島市	平和リース球場(鹿児島県立鴨池野球場)								●	●	●	●				
			鴨池公園野球場(鴨池市民球場)									●	●	●	●			
		出水市	ブルーチップスタジアム(出水市総合運動公園野球場)									●	●					
		薩摩川内市	薩摩川内市総合運動公園野球場									●	●					
		日置市	日置市伊集院総合運動公園野球場									●	●	●				
			日置市東市来運動公園湯之元球場							●		●						
相撲	成年男子	奄美市	奄美市名瀬運動公園サンドーム								●	●	●					
	少年男子										●	●	●					
	成年女子										●	●	●					
	少年女子										●	●	●					
馬術	全種別	霧島市	霧島市牧園特設馬術競技場						●	●	●	●	●					
フェンシング	全種別	垂水市	垂水中央運動公園体育館		●	●	●	●										
柔道	成年男子	鹿児島市	西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)															
少年男子																		
	女子																	

正式競技

競技名	種別	会場地	競技会場	競技日程													
				10月													
				7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火			
ソフトボール	成年男子	南九州市	諏訪運動公園陸上競技場		●	●	●										
	少年男子		知覧平和公園陸上競技場		●	●	●										
	少年女子		知覧平和公園多目的球場		●	●	●										
	成年女子	指宿市	開間総合グラウンド		●	●	●										
バドミントン	全種別	指宿市	指宿総合体育館								●	●	●	●			
弓道	近的	全種別	出水市	出水市総合運動公園特設弓道会場								●	●	●	●		
	遠的			出水市総合運動公園特設弓道会場									●	●	●		
ライフル射撃	50m	全種別	鹿児島市	鹿児島県ライフル射撃場		●	●	●									
	10m			ハートピアかごしま		●	●	●	●								
	BR, BP	少年男子 少年女子	始良市	鹿児島県警察学校		●	●	●									
	25m	成年男子	霧島市	霧島市牧園アリーナ		●	●	●									
剣道	全種別	霧島市	霧島市牧園アリーナ		●	●	●										
	成年男子	鹿児島市	鹿児島県立サッカー・ラグビー場			●	●										
	女子		北薩広域公園かぐや姫グラウンド 北薩広域公園運動広場		●	●		●	●								
少年男子	さつま町		●	●		●	●										
スポーツクライミング	リード	全種別	南さつま市	南さつま市加世田特設スポーツクライミング会場		●	●	●									
	ボルダリング				●	●	●										
カヌー	スプリント	全種別	伊佐市	伊佐市菱刈カヌー競技場								●	●	●	●		
	スラローム	成年男子 成年女子	湧水町	湧水町轟の瀬特設カヌー競技場									●	●			
	ワイルドウォーター											●			●		
アーチェリー	全種別	鹿児島市	鹿児島ふれあいスポーツランド運動広場									●	●	●			
空手道	全種別	薩摩川内市	薩摩川内市総合運動公園総合体育館 (サンアリーナせんだい)		●	●	●										
銃剣道	成年男子 少年男子	霧島市	霧島市立国分中央高等学校精華アリーナ										●	●	●		
なぎなた	成年女子 少年女子	枕崎市	枕崎市立総合体育館										●	●	●		
ボウリング	全種別	鹿児島市	サンライトゾーン		●	●	●	●	●								
トライアスロン	成年男子 成年女子	天城町	天城町特設トライアスロン会場		●												

正式競技（会期前実施競技）

競技名	種別	会場地	競技会場	競技日程													
				9月													
				16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日					
水泳	競泳	全種別	鹿児島市	鴨池公園水泳プール							●	●	●				
	飛込	全種別				●	●	●									
	水球	少年男子 女子			●		●	●									
	アーティスティック スイミング	少年女子			●		●	●									
	オープンウォーター スイミング	男子 女子	屋久島町	屋久島町一湊海水浴場特設オープンウォーター スイミング会場			●										
ボート	全種別	鹿屋市	鹿屋市輝北ダム特設ボートコース							●	●	●	●				
バレーボール	ビーチバレーボール	少年男子 少年女子	大崎町	大崎町ビーチスポーツ専用競技場	●	●	●	●									
体操	競技	全種別	鹿児島市	西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)							●	●	●	●			
	新体操	少年女子			●	●											
	トランポリン	男子 女子					●										
レスリング	成年男子 少年男子 女子	日置市	日置市吹上浜公園体育館								●	●	●	●			
ゴルフ	成年男子	霧島市	霧島ゴルフクラブ								●	●	●				
	少年男子		溝辺カントリークラブ								●	●	●				
	女子	始良市	鹿児島高牧カントリークラブ								●	●	●				

特別競技

競技名	種別	会場地	競技会場	競技日程													
				10月													
				7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火			
高等学校野球	硬式	—	鹿児島市	平和リース球場(鹿児島県立鴨池野球場)		●	●	×	●								
	軟式	—	出水市	ブルーチップスタジアム(出水市総合運動公園野球場)		●	●	×	●								

公開競技

競技名	種別	会場地	競技会場	競技日程
綱引	全種別	垂水市	垂水中央運動公園体育館	8月 19日(土) ~ 8月 20日(日)
ゲートボール	全種別	指宿市	指宿市宮陸上競技場	9月 23日(土) ~ 9月 24日(日)
武術太極拳	全種別	曾於市	曾於市末吉総合体育館	9月 23日(土) ~ 9月 24日(日)
パワーリフティング	全種別	知名町	おきえらぶ文化ホールあしびの郷・ちな	9月 22日(金) ~ 9月 24日(日)
グラウンド・ゴルフ	全種別	霧島市	霧島市丸岡公園緑地公園	9月 23日(土) ~ 9月 24日(日)

デモンストレーションスポーツ

競技名	会場地
ウォーキング	中種子町
エアロビック	出水市
遠泳	阿久根市
お手玉	鹿児島市
サーフィン	南種子町
サイクリング	南さつま市
3B体操	いちき串木野市
史跡巡りウォーキング	東串良町 与論町
ジャズ体操	霧島市
少年サッカー	宇検村
少年相撲	瀬戸内町
少林寺拳法	いちき串木野市
スポーツウエルネス吹矢	鹿屋市
スポーツチャンバラ	垂水市
ソフトバレーボール	西之表市 日置市
ターゲット・ハードゴルフ	出水市
ダンススポーツ	始良市
ディスクゴルフ	南九州市
ドッジボール	大崎町
ドライビングコンテスト(ゴルフ)	南九州市
パークゴルフ	霧島市
バウンドテニス	薩摩川内市
ビーチフラッグス	阿久根市
ビリヤード	出水市
フライングディスク	鹿児島市
ふれあいグラウンド・ゴルフ	龍郷町 徳之島町
ベタンク	始良市
ボート(フネインカー競漕)	喜界町
真向法体操	錦江町
ママさんバレー	長島町
マラソン	十島村
ミニバレー	知名町
ミニバレーボール	伊仙町 和泊町
ラジオ体操	三島村
ランニングバイク	大和村
歴史探訪ウォーキング	志布志市

※ デモンストレーションスポーツの競技会場、競技日程については、今後調整の上、概ね今年度中に決定予定。

余白

特別全国障害者スポーツ大会 正式競技の追加について（案）

「燃ゆる感動かごしま大会」の正式競技として、下記の競技を追加する。

記

- 1 競技名 ボッチャ（個人競技）
- 2 会場地 指宿総合体育館（指宿市）
- 3 競技運営主管団体 鹿児島県ボッチャ協会

（提案趣旨）

「ボッチャ競技」は、令和3年の「三重とこわか大会」から正式競技として導入された。
令和2年開催予定であった「かごしま大会」では、「ボッチャ競技」は、含まれていなかったが、障害者スポーツの普及・振興を図る上からも「かごしま大会」への「ボッチャ競技」導入は適当と思われることから、「かごしま大会」の正式競技として、「ボッチャ競技」を追加する。

余白

参考資料 1

1 ボッチャ追加後の正式競技

※ 実施競技は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会が定める「全国障害者スポーツ大会競技規則」に基づき、個人競技及び団体競技あわせて 14 競技を実施予定。
 ※ 競技運営は、公益財団法人日本スポーツ協会に加盟する開催地都道府県の関係競技団体が主管するとされている。(全国障害者スポーツ大会開催基準要綱 5-(5))

	競技名	区分	競技運営主管団体名	会場地	所在地
個人 競技 (7 競 技)	陸上競技	身・知	一般社団法人 鹿児島陸上競技協会	白波スタジアム (県立鴨池陸上競技場)	鹿児島市
	水泳	身・知	一般社団法人 鹿児島県水泳連盟	鴨池公園水泳プール	
	アーチェリー	身	鹿児島県 アーチェリー協会	鹿児島ふれあいスポ ーツランド運動広場	
	卓球 (サウンドテーブルテニス含む)	身・知・精	鹿児島県卓球連盟	西原商会アリーナ (鹿児島アリーナ)	
	フライングディスク	身・知	鹿児島県障害者 フライングディスク 協会	県立サッカー・ラグ ビー場	
	ボッチャ	身	鹿児島県ボッチャ協会	指宿総合体育館	指宿市
	ボウリング	知	鹿児島県 ボウリング連盟	サンライトゾーン	鹿児島市
団体 競技 (7 競 技)	バスケットボール	知	一般社団法人 鹿児島県 バスケットボール協会	始良市総合運動公園 体育館	始良市
	車いすバスケットボール	身		いちき串木野市総合 体育館	いちき 串木野市
	ソフトボール	知	鹿児島県 ソフトボール協会	知覧平和公園多目的 球場	南九州市
	グラウンドソフトボール	身		開聞総合グラウンド	指宿市
	バレーボール	身・知	鹿児島県 バレーボール協会	南栄リース桜島アリ ーナ (桜島総合体育 館)	鹿児島市
		精		平和公園串良平和ア リーナ	鹿屋市
	サッカー	知	一般社団法人 鹿児島県サッカー協会	国分運動公園陸上競 技場, 多目的広場	霧島市
フットベースボール	知	鹿児島県 ソフトボール協会	知覧平和公園陸上競 技場	南九州市	

※ 競技・種目は、令和3年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」に定めるところによる。

身＝身体障害者が出場可能な競技
 知＝知的障害者が出場可能な競技
 精＝精神障害者が出場可能な競技

〔始良市〕

○バスケットボール(知)
始良市総合運動公園体育館

〔霧島市〕

○サッカー(知)
国分運動公園陸上競技場
" 多目的広場

〔いちき串木野市〕

○車いすバスケットボール(身)
いちき串木野市総合体育館

〔鹿児島市〕

○卓球(身・知・精)
西原商会アリーナ
(鹿児島アリーナ)

○バレーボール(身・知)
南栄リース桜島アリーナ
(桜島総合体育館)

○陸上競技(身・知)
白波スタジアム
(県立鴨池陸上競技場)

○水泳(身・知)
鴨池公園水泳プール

○ボウリング(知)
サンライトゾーン

○アーチェリー(身)
鹿児島ふれあい
スポーツランド運動広場

○フライングディスク(身・知)
県立サッカー・ラグビー場

〔指宿市〕

○グランドソフトボール(身)
開聞総合グラウンド

○ポッチャ(身)
指宿総合体育館

〔南九州市〕

○ソフトボール(知)
知覧平和公園多目的球場

○フットベースボール(知)
知覧平和公園陸上競技場

〔鹿屋市〕

○バレーボール(精)
平和公園串良平和アリーナ

(身): 身体障害者が出場できる競技
(知): 知的障害者が出場できる競技
(精): 精神障害者が出場できる競技

2 ボッチャ競技導入の目的・経緯

<目的>

ボッチャ競技は、他競技に参加機会の少ない重度身体障害者のスポーツ参加を目的に全国障害者スポーツ大会に導入された。

<経緯>

- ・H25 日障協が、ボッチャ競技導入について検討開始
- ・H29. 3 日障協が、ボッチャ競技の正式競技導入の決定・公表
- ・H29. 12 スポーツ庁から実施競技導入の通知（各都道府県知事・指定都市市長あて）
- ・R3 第21回三重大会から正式競技として実施

3 「鹿児島県ボッチャ協会」について

設 立 日：令和3年2月21日

事 務 所：鹿児島市吉野町 8861-1-101 鹿児島パラアスリートクラブ内

目 的：・県内におけるボッチャの奨励・振興・普及を図る。
・障がい福祉の推進及び理解啓発に寄与する。

会 長：山口 義明

副 会 長：彌勒 泰代

事務局長：丸野 奈央

監 事：木尾 謙一郎

4 会場地について

(1) 会場の条件

- ア 空調設備があること。（競技規定により規定）
- イ バドミントンコートが14面以上確保できること。
- ウ バリアフリーがある程度整備されていること。
- エ 施設の周囲に仮設物を設置できる広さがあること。

(2) 競技者に負担の少ない会場地

- ア 会場と宿舎が近いこと。
- イ 競技者や介助者全員が宿泊できる収容能力があること。（会場地市として）

指宿市は、上記の条件を満たすとともに、本大会の正式競技グランドソフトボール競技の開催地であり、市全体としても迎え入れる体制ができている。

指宿総合体育館をボッチャ競技会場として大会を実施することの承諾を指宿市から得ている。（令和3年3月31日）

余白



BOCCIA(ボッチャ)ってどんなスポーツ？



鹿児島県全国障害者スポーツ大会課

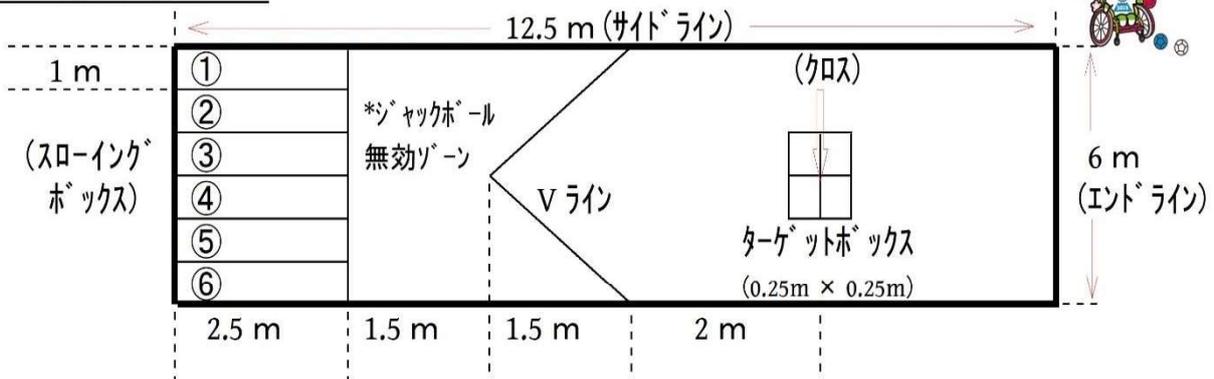
1 どこで生まれたスポーツ？

- ボッチャは、身体に重い障害がある人のために、ヨーロッパで考えられたスポーツです。近年は、障害の有無に関わらず、老若男女、誰でも楽しむことができるスポーツとして注目されています。※語源(Bocce イタリア語・ボッチャ:ボール, 投げる)

2 どんなスポーツ？

- 「ジャックボール」と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球のボールを投げて、いかに近づけるかを競うスポーツです。
- ジャックボールに近づけるだけでなく、相手のボールやジャックボールをはじいて、自分に有利な位置取りをしていくところが大変盛り上がります。
- 試合には、シングル戦、ペア戦、チーム戦があり、それぞれ選手が投球する位置(スローイングボックス)が決められています。
- ボールを投げるのが難しい障害者でもランプと呼ばれる滑り台のような勾配具を使用し、サポートするアシスタントに指示を出すことでゲームに参加することができます。
- 1984年からパラリンピックの正式競技として行われています。2021年から全国障害者スポーツ大会でも正式競技として追加されます。
※ 全国障害者スポーツ大会では、大会独自の競技規則により実施される予定です。

3 使用するコート



※ 投球したボールが、サイドラインやエンドラインを超えるとデッドボール(無効)となります。オンラインもデッドボールです。競技中に押し出されたジャックボールがデッドボールとなった場合、ターゲットボックス中央のクロスに戻されます。

(使用するスローイングボックス)

- シングル戦… (赤③, 青④)
- ペア戦 … (赤②④, 青③⑤)
- チーム戦 … (赤①③⑤, 青②④⑥)



4 試合の流れ

① トス

両選手（ペアやチーム）でトスをして先攻後攻を決めます。

② スローイングボックスに入る。

先攻側がジャックボールと赤ボール，後攻側が青ボールを使用し，各スローイングボックスに入ります。

③ 先攻側投球

先攻側（赤）が的になるジャックボールを投げ，続けて1投目の投球を行います。

④ 後攻側投球

後攻側（青）が最初の投球を行います。

⑤ ジャックボール（的）に遠い側から順番に投球

以降，ジャックボール（的）から遠い位置にあるボール側の選手（ペア，チーム）が投球を行います。

⑥ 全部ボールを投げ終わった時点で得点を計算

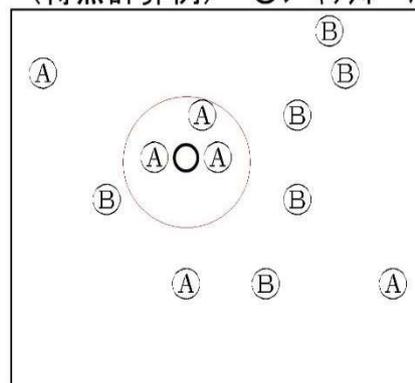
ジャックボールに最も近いボールを投げた側のみ得点が入ります。

相手側より，ジャックボールに近いボール1個につき1点が与えられます。

両チーム同じ距離の場合は，1対1の引き分けとなります。

⑦ この③～⑥までの一連の流れを1エンドとし，個人戦，ペア戦は4エンド，チーム戦は6エンド行います。

（得点計算例） ○ジャックボール



①がジャックボールに近く，②より3個近くにあるため，①対②の得点は3対0

5 その他のルールや競技上の工夫

- ・ ボッチャで使用するボールは，周長270 mm ± 8 mm 以内，重さは275 g ± 12 g 以内と決められていますが，障害の特性やプレースタイルによってボールの材質を使い分けていることがあります。基本的にはマイボール制で，天然皮革製，人工皮革製等があります。
- ・ ボールを投げるのが難しい選手は，ボールを蹴ることも可能です。また，ランプという勾配具を使うこともできます。アシスタントというサポートする人に長さや方位，角度を指示してボールをころがしてゲームに参加できます。（アシスタントは，コートに背を向け，選手へのアドバイス，合図はできません。）
- ・ ボッチャは頭脳戦と言われ，様々な戦術があります。是非体験してみてください。

<参考文献>

- ・ 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 「かんたん！ボッチャガイド」
- ・ 一般社団法人 日本ボッチャ協会 競技規則 2017-2020V. 1

県民運動基本方針・県民運動基本計画の改訂概要

1 国体・大会名称の変更

令和2年開催予定であった「かごしま国体・かごしま大会」が、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年10月8日の日本スポーツ協会臨時理事会において、令和5年に「特別国民体育大会」、「特別全国障害者スポーツ大会」として開催することが決定したことを踏まえ名称を変更する。

- ・ 第75回国民体育大会 ⇒ 特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」
・ 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」

2 「第75回国民体育大会開催基本構想」の基本目標の改訂

両大会延期に伴い平成27年に策定した「第75回国民体育大会開催基本構想」の基本目標の改訂案が、令和3年3月に書面開催された総務専門委員会において審議・可決されたことを踏まえ、県民運動基本方針の基本目標について所要の改訂を行う。

追加

- ・ 「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴するスポーツ大会として、思い出に残る希望に満ちた両大会となる取組を行う。

削除

- ・ 東京オリンピックの感動と興奮を引き継ぎ、オリンピックイヤーにふさわしい取組を行う。

3 全国障害者スポーツ大会に関する項目を追加

全国障害者スポーツ大会に関しては、平成29年に策定した第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催基本計画に県民運動の基本目標を定め、昨年10月に両大会の開催延期が決定するまで、障害者への接し方や支援の方法などを掲載した県民向け啓発資料「ふれ愛の絆を深めるために～私たちにできること～」の周知・啓発等の取組を進めてきた。

今回、県民運動基本方針等の見直しに合わせ、改めて令和5年に向けて国体と全国障害者スポーツ大会における県民運動を更に一体的に推進していくため、県民運動基本方針の基本目標に全国障害者スポーツ大会に関する項目を追加する。

追加

- ・ 障害や障害者に対する理解を深め、障害のある人もない人も共に支え合う心を醸成する。

(次頁に続く)

4 上記2及び3により，平成27年に策定した県民運動基本方針の基本目標を改訂することに伴い，「県民運動基本計画の具体的取組」の所要の改訂を行う。

- ・ 手作りののぼり旗や横断幕等により後催県への感謝の意を表明
- ・ 多くの来県が見込まれる障害者への接し方や支援の方法などを掲載した県民向け啓発資料「ふれ愛の絆を深めるために～私たちにできること～」の周知，活用 など

5 字句や時点修正等

- ・ 国体 ⇒ 両大会
- ・ 炬火イベント ⇒ 炬火リレー など

**特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・
特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」
県民運動基本方針（改訂案） 新旧対照表**

※ 変更箇所は、下線部分

改訂前	改訂後
<p><u>第75回国民体育大会</u>県民運動基本方針</p> <p>1 目的</p> <p><u>第75回国民体育大会</u>において、県民総参加のもと『力みなぎる・かごしま』の多彩な魅力を全国に発信する<u>国体</u>の実現を目指して、県民運動を展開することとする。</p> <p>この県民運動を通じて、県民の<u>国体</u>開催に係る気運の<u>醸成</u>を図るとともに、本県の魅力発信や健康で活力に満ちた地域社会づくりに寄与することを目的とする。</p> <p>2 基本目標</p> <p style="text-align: center;">（新規追加項目）</p> <p>(1) 県民総参加のもと、<u>国体</u>イベントやボランティア活動への参加などで<u>国体</u>を盛り上げる。</p> <p>(2) 全国から来県する参加者を「まごころ」のこもったおもてなしで歓迎する。</p> <p>(3) <u>スポーツ</u>との様々な関わりを通じて、生涯にわたって<u>スポーツ</u>に親しむ。</p> <p>(4) 豊かな自然、歴史・文化、<u>食材</u>など、<u>鹿児島県</u>の魅力を全国に発信する。</p> <p>(5) <u>東京オリンピックの感動と興奮を引き継ぎ、オリンピックイヤーにふさわしい取組を行う。</u></p>	<p><u>特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」</u> 県民運動基本方針</p> <p>1 目的</p> <p><u>特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」</u>（以下「<u>両大会</u>」という。）において、県民総参加のもと『力みなぎる・かごしま』の多彩な魅力を全国に発信する<u>両大会</u>の実現を目指して、県民運動を展開することとする。</p> <p>この県民運動を通じて、県民の<u>両大会</u>開催に係る気運の<u>再醸成</u>を図るとともに、本県の魅力発信や健康で活力に満ちた地域社会づくりに寄与することを目的とする。</p> <p>2 基本目標</p> <p>(1) <u>「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴するスポーツ大会として、思い出に残る希望に満ちた両大会となる取組を行う。</u></p> <p>(2) 県民総参加のもと、<u>大会</u>イベントやボランティア活動への参加などで<u>両大会</u>を盛り上げる。</p> <p>(3) 全国から来県する参加者を「まごころ」のこもったおもてなしで歓迎する。</p> <p>(4) <u>スポーツ</u>との様々な関わりを通じて、生涯にわたって<u>スポーツ</u>に親しむ。</p> <p>(5) 豊かな自然、歴史・文化、<u>食</u>など、<u>鹿児島島の多彩な魅力</u>を全国に発信する。</p> <p style="text-align: center;">（削除項目）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>※ <u>かごしま国体</u>は、令和5年に延期して開催することになり、東京オリンピックと同年開催ではなくなったため、項目から削除する。</p> </div>

改訂前	改訂後
<p>(新規追加項目)</p> <p>3 県民運動の進め方</p> <p>(1) 県民運動は、県民一人一人が<u>国体</u>の開催意義を理解し、様々な形で参加、協力することを基本とする。</p> <p>(2) <u>県準備（実行）委員会</u>は、県民運動の全県的な推進計画を定め、普及・啓発活動を行うとともに、市町村や各種団体等と連携を図り、県民総参加の取組を推進する。</p> <p>(3) <u>市町村準備（実行）委員会</u>は、県民運動の市町村における推進計画を定め、普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力して、地域の特性に応じた実践活動を推進する。</p> <p>(4) 学校やNPO法人、企業、各種団体等は、県や市町村の推進計画に協力するとともに、それぞれの特色を生かした活動に取り組む。</p>	<p><u>(6) 障害や障害者に対する理解を深め、障害のある人もない人も共に支え合う心を醸成する。</u></p> <p>3 県民運動の進め方</p> <p>(1) 県民運動は、県民一人一人が<u>両大会</u>の開催意義を理解し、様々な形で参加、協力することを基本とする。</p> <p>(2) <u>県実行委員会</u>は、県民運動の全県的な推進計画を定め、普及・啓発活動を行うとともに、市町村や各種団体等と連携を図り、県民総参加の取組を推進する。</p> <p>(3) <u>市町村実行委員会</u>は、県民運動の市町村における推進計画を定め、普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力して、地域の特性に応じた実践活動を推進する。</p> <p>(4) 学校やNPO法人、企業、各種団体等は、県や市町村の推進計画に協力するとともに、それぞれの特色を生かした活動に取り組む。</p>

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・
特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」
県民運動基本方針（改訂案）

1 目的

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」（以下「両大会」という。）において、県民総参加のもと「『力みなぎる・かごしま』の多彩な魅力を全国に発信する両大会」の実現を目指して、県民運動を展開することとする。

この県民運動を通じて、県民の両大会開催に係る気運の再醸成を図るとともに、本県の魅力発信や健康で活力に満ちた地域社会づくりに寄与することを目的とする。

2 基本目標

- (1) 「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴するスポーツ大会として、思い出に残る希望に満ちた両大会となる取組を行う。
- (2) 県民総参加のもと、大会イベントやボランティア活動への参加などで両大会を盛り上げる。
- (3) 全国から来県する参加者を「まごころ」のこもったおもてなしで歓迎する。
- (4) スポーツとの様々な関わりを通じて、生涯にわたってスポーツに親しむ。
- (5) 豊かな自然，歴史・文化，食など，鹿児島島の多彩な魅力を全国に発信する。
- (6) 障害や障害者に対する理解を深め，障害のある人もない人も共に支え合う心を醸成する。

3 県民運動の進め方

- (1) 県民運動は、県民一人一人が両大会の開催意義を理解し、様々な形で参加，協力することを基本とする。
- (2) 県実行委員会は、県民運動の全県的な推進計画を定め、普及・啓発活動を行うとともに、市町村や各種団体等と連携を図り、県民総参加の取組を推進する。
- (3) 市町村実行委員会は、県民運動の市町村における推進計画を定め、普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力して、地域の特性に応じた実践活動を推進する。
- (4) 学校やNPO法人，企業，各種団体等は、県や市町村の推進計画に協力するとともに、それぞれの特色を生かした活動に取り組む。

余白

**特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・
特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」
県民運動基本計画（改訂案） 新旧対照表**

※ 変更箇所は、 下線部分

改訂前	改訂後
<p><u>第75回国民体育大会</u>県民運動基本計画</p> <p>第75回国民体育大会県民運動基本方針に基づき、県民等が<u>国体</u>に様々な形で参加，協力することを促すため，次のとおり具体的取組を示し，<u>国体</u>開催に向けた県民総参加の取組を推進する。</p> <p>1 具体的取組</p> <p style="text-align: center;">（新規追加項目）</p> <p>(1) 県民総参加のもと，<u>国体</u>イベントやボランティア活動への参加などで<u>国体</u>を盛り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>総合開会式・閉会式の出演や炬火イベント</u>等への参加 ・ 競技会場での観戦や選手の応援 ・ ボランティア活動への参加 ・ <u>国体</u>募金や企業協賛による協力 ・ 競技会場，道路，河川，海岸等の清掃活動に<u>参加</u> ・ マイカー自粛や公共交通機関の利用促進 <p>(2) 全国から来県する参加者を「まごころ」のこもったおもてなしで歓迎する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい笑顔で元気なあいさつと親切な応対 	<p><u>特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」</u>県民運動基本計画</p> <p>特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」（以下、「<u>両大会</u>」という。）県民運動基本方針に基づき，県民等が<u>両大会</u>に様々な形で参加，協力することを促すため，次のとおり具体的取組を示し，<u>両大会</u>開催に向けた県民総参加の取組を推進する。</p> <p>1 具体的取組</p> <p>(1) 「<u>コロナ禍からの再生と飛躍</u>」を象徴するスポーツ大会として，<u>思い出に残る希望に満ちた両大会</u>となる取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>手作りののぼり旗や横断幕等により後催県への感謝の意を表明</u> ・ <u>後催県との交流イベント等への参加</u> ・ <u>九州で2年連続開催となる「かごしま国体・かごしま大会」と「SAGA2024 国民スポーツ大会・SAGA2024 全国障害者スポーツ大会」を両県民で応援</u> <p>(2) 県民総参加のもと，<u>大会</u>イベントやボランティア活動への参加などで<u>両大会</u>を盛り上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>総合開・閉会式や炬火リレー</u>等への参加 ・ 競技会場での観戦や選手の応援 ・ ボランティア活動への参加 ・ 募金や企業協賛による協力 ・ 競技会場，道路，河川，海岸等の清掃活動への<u>参加</u> ・ マイカー自粛や公共交通機関の利用促進 <p>(3) 全国から来県する参加者を「まごころ」のこもったおもてなしで歓迎する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい笑顔で元気なあいさつと親切な応対

改訂前	改訂後
<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技会場や沿道，街並みなどを花で彩る花いっぱい運動への参加 ・ 手づくりののぼり旗や案内看板等による歓迎・応援 ・ 都道府県応援団の結成による歓迎・応援 ・ 鹿児島県の誇る文化・芸術，郷土料理や特産品などでのおもてなし <p>(3) <u>スポーツとの様々な関わりを通じて，生涯にわたってスポーツに親しむ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>デモンストレーションスポーツへの参加</u> ・ <u>会場地市町村等におけるスポーツ教室など，各種スポーツイベント等への参加・交流</u> ・ <u>県内で行われる各種競技会やスポーツキャンプ等の観戦・応援</u> ・ <u>各人の関心や適性に応じた生涯スポーツへの取組</u> <p>(4) <u>豊かな自然，歴史・文化，食材など，鹿児島県の魅力を全国に発信する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>郷土の自然環境，歴史・文化，食などの鹿児島らしい魅力を再認識・発信</u> ・ <u>地産地消を基本とした鹿児島の安心・安全な食材や郷土料理の提供・紹介</u> ・ <u>鹿児島の特産品の知名度アップと販売促進</u> ・ <u>インターネット，テレビや広報誌など様々なメディアを活用した情報発信</u> <p>(5) <u>東京オリンピックの感動と興奮を引き継ぎ，オリンピックイヤーにふさわしい取組を行う。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>東京オリンピックと連動した広報の実施及び啓発イベントへの参加</u> ・ <u>東京オリンピックで活躍した選手とのイベント等での交流</u> ・ <u>東京オリンピックの日本選手の活躍を伝える展示ブースの設置</u> ・ <u>東京オリンピックと連動した文化プログラムの実施による文化・芸術の魅力発信</u> <p>(新規追加項目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競技会場や沿道，街並みなどを花で彩る花いっぱい運動への参加 ・ 手づくりののぼり旗や案内看板等による歓迎・応援 ・ 都道府県応援団の結成による歓迎・応援 ・ 鹿児島県の誇る文化・芸術，郷土料理や特産品などでのおもてなし <p>(4) <u>スポーツとの様々な関わりを通じて，生涯にわたってスポーツに親しむ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>デモンストレーションスポーツや会場地市町村等におけるスポーツ教室など，各種スポーツイベント等への参加・交流</u> ・ <u>県内で行われる各種競技会やスポーツキャンプ等の観戦・応援</u> ・ <u>各人の関心や適性に応じた生涯スポーツへの取組</u> <p>(5) <u>豊かな自然，歴史・文化，食など，鹿児島の多彩な魅力を全国に発信する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>郷土の自然環境，歴史・文化，食などの鹿児島らしい魅力を再認識・発信</u> ・ <u>地産地消を基本とした鹿児島の安心・安全な食材や郷土料理の提供・紹介</u> ・ <u>鹿児島の特産品の知名度アップと販売促進</u> ・ <u>インターネットやテレビ，広報誌など様々なメディアを活用した情報発信</u> <p>(削除項目)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>※ <u>かごしま国体は，令和5年に延期して開催することになり，東京オリンピックと同年開催ではなくなったため，項目から削除する。</u></p> </div> <p>(6) <u>障害や障害者に対する理解を深め，障害のある人もない人も共に支え合う心を醸成する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>多くの来県が見込まれる障害者への接し</u>

改訂前	改訂後
<p>2 推進スケジュール</p> <p style="text-align: center;">※別表参照</p>	<p><u>方や支援の方法などを掲載した県民向け啓発資料「ふれ愛の絆を深めるために～私たちにできること～」の周知, 活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>競技会場における障害者スポーツの観戦</u> ・ <u>応援</u> ・ <u>障害者スポーツ体験イベント等への参加</u> ・ <u>交流</u> <p>2 推進スケジュール</p> <p style="text-align: center;">※別表参照</p>

(改訂後)

2 推進スケジュール

年 度	事 業 内 容
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 県民運動基本方針、基本計画、プログラムの改訂 「花いっぱい運動」の展開 募金や企業協賛の再募集、協力依頼 「ゆめ～KIBAIYANSE～ダンス」講習会の実施 エールプロジェクトを推進(令和6年度まで)
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 運営ボランティアの再募集開始, 研修会の実施 デモンストレーションスポーツの参加者募集開始 「ゆめ～KIBAIYANSE～ダンス」コンテストの開催 文化プログラムの実施
令和5年度 (開催年)	<ul style="list-style-type: none"> 炬火リレーの実施 本大会での実践活動

県民運動基本方針、基本計画に基づく推進

(改訂前)

2 推進スケジュール

年 度	事 業 内 容
平成27年度 (開催内定)	<ul style="list-style-type: none"> 県民運動基本方針、基本計画の策定
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種県民運動の実践活動の開始
平成29年度 (開催決定)	<ul style="list-style-type: none"> 国体募金、企業協賛の開始
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 大会運営ボランティアの募集開始
平成31年度	<ul style="list-style-type: none"> 大会運営ボランティアの研修会 リハーサル大会での実践活動
平成32年度 (開催年)	<ul style="list-style-type: none"> 本大会での実践活動

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・
特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」
県民運動基本計画（改訂案）

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」（以下「両大会」という。）県民運動基本方針に基づき、県民等が両大会に様々な形で参加，協力することを促すため，次のとおり具体的取組を示し，両大会開催に向けた県民総参加の取組を推進する。

1 具体的取組

- (1) 「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴するスポーツ大会として，思い出に残る希望に満ちた両大会となる取組を行う。
 - ・ 手作りののぼり旗や横断幕等により後催県への感謝の意を表明
 - ・ 後催県との交流イベント等への参加
 - ・ 九州で2年連続開催となる「かごしま国体・かごしま大会」と「SAGA2024 国民スポーツ大会・SAGA2024 全国障害者スポーツ大会」を両県民で応援
- (2) 県民総参加のもと，大会イベントやボランティア活動への参加などで両大会を盛り上げる。
 - ・ 総合開・閉会式や炬火リレー等への参加
 - ・ 競技会場での観戦や選手の応援
 - ・ ボランティア活動への参加
 - ・ 募金や企業協賛による協力
 - ・ 競技会場，道路，河川，海岸等の清掃活動への参加
 - ・ マイカー自粛や公共交通機関の利用促進
- (3) 全国から来県する参加者を「まごころ」のこもったおもてなしで歓迎する。
 - ・ 明るい笑顔で元気なあいさつと親切な応対
 - ・ 競技会場や沿道，街並みなどを花で彩る花いっぱい運動への参加
 - ・ 手づくりののぼり旗や案内看板等による歓迎・応援
 - ・ 都道府県応援団の結成による歓迎・応援
 - ・ 鹿児島島の誇る文化・芸術，郷土料理や特産品などでのおもてなし
- (4) スポーツとの様々な関わりを通じて，生涯にわたってスポーツに親しむ。
 - ・ デモンストラションスポーツや会場地市町村等におけるスポーツ教室など，各種スポーツイベント等への参加・交流
 - ・ 県内で行われる各種競技会やスポーツキャンプ等の観戦・応援

- ・ 各人の関心や適性に応じた生涯スポーツへの取組
- (5) 豊かな自然，歴史・文化，食など，鹿児島県の多彩な魅力を全国に発信する。
- ・ 郷土の自然環境，歴史・文化，食などの鹿児島らしい魅力を再認識・発信
 - ・ 地産地消を基本とした鹿児島県の安心・安全な食材や郷土料理の提供・紹介
 - ・ 鹿児島県の特産品の知名度アップと販売促進
 - ・ インターネットやテレビ，広報誌など様々なメディアを活用した情報発信
- (6) 障害や障害者に対する理解を深め，障害のある人もない人も共に支え合う心を醸成する。
- ・ 多くの来県が見込まれる障害者への接し方や支援の方法などを掲載した県民向け啓発資料「ふれ愛の絆を深めるために～私たちにできること～」の周知，活用
 - ・ 競技会場における障害者スポーツの観戦・応援
 - ・ 障害者スポーツ体験イベント等への参加・交流

2 推進スケジュール

年 度	事 業 内 容
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民運動基本方針，基本計画，プログラムの改訂 ・ 「花いっぱい運動」の展開 ・ 募金や企業協賛の再募集，協力依頼 ・ 「ゆめ～K I B A I Y A N S E～ダンス」講習会の実施 ・ エールプロジェクトを推進(令和6年度まで)
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営ボランティアの再募集開始，研修会の実施 ・ デモンストラーションスポーツの参加者募集開始 ・ 「ゆめ～K I B A I Y A N S E～ダンス」コンテストの開催 ・ 文化プログラムの実施
令和5年度 (開催年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炬火リレーの実施 ・ 本大会での実践活動

県民運動基本方針、基本計画に基づく推進

広報基本方針及び広報基本計画の改訂について

1 国体・大会名称の変更

令和2年開催予定であった「かごしま国体・かごしま大会」が、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年10月8日の日本スポーツ協会臨時理事会において、令和5年に「特別国民体育大会」、「特別全国障害者スポーツ大会」として開催することが決定したことを踏まえ名称を変更する。

また、今回、広報基本方針、広報基本計画の見直しに合わせ、改めて令和5年に向けて国体と全国障害者スポーツ大会における広報活動を更に一体的に推進していくため、広報基本方針、広報基本計画の標題に全国障害者スポーツ大会を追加する。

第75回国民体育大会 → 特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」

2 「第75回国民体育大会開催基本構想」の基本目標の改訂

両大会延期に伴い平成27年に策定した「第75回国民体育大会開催基本構想」の基本目標を実現するための取組改訂案が、令和3年3月に書面開催された総務専門委員会において審議・可決されたことを踏まえ、広報基本計画に「後催県との交流による広報」を追加する。

特別国民体育大会開催基本構想

<基本目標を実現するための取組>

- 1 コロナ禍からの再生と飛躍を象徴する国体
 - (1) 後催県への感謝と交流の推進
 - (2) 特別国体としての新たな価値の創出
 - (3) 国体から国民スポーツ大会へつなぐ取組
 - (4) 国体開催による経済浮揚の取組



特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」広報基本計画

9 後催県との交流による広報

両大会の開催決定にあたり多大な御理解・御協力をいただいた後催県とのスポーツ等を通じた人的交流や、「双子の大会」を契機とした佐賀県との様々な交流（通称「エールプロジェクト」）により開催気運の再醸成を図る。

- (1) 後催県とのスポーツ等を通じた人的交流の実施
- (2) 鹿児島・佐賀エールプロジェクトの推進

3 両大会延期に伴う時点修正等

- ・ スローガン等を制定し、普及する。 ⇒ スローガン等の更なる普及を図る。
- ・ 専用ホームページの開設 ⇒ 専用ホームページの運用 等

余白

**特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会
燃ゆる感動かごしま大会」広報基本方針（改訂案）新旧対照表**

※ 変更箇所は、___部分

改訂前	改訂後
<p><u>第75回国民体育大会広報基本方針</u></p> <p>第75回国民体育大会（以下「大会」という。）の広報活動は、大会開催基本方針に基づき、開催意義を広く県内外に周知し、その理解を深めることにより、大会への参加意識の高揚を図り、県民の積極的な参加を実現するとともに、鹿児島島の多彩な魅力を全国に発信するため、次のとおり広報活動を展開する。</p> <p>1 県・市町村、関係機関・団体、企業、NPO、ボランティア等との緊密な連携と協力のもとに、各種の広報媒体を計画的かつ効果的に活用し、大会の積極的な広報に努める。</p> <p>2 報道機関との連携や多様なメディアの活用により、大会に関する情報を迅速かつ広域的に伝達するとともに、鹿児島島の多彩な魅力を全国に発信する。</p> <p>3 大会を象徴し、広く県民に愛されるような愛称やスローガン等を制定し、その普及を図ることにより、大会開催の気運を高める。</p> <p>4 大会の記録映像及び記録写真集等を制作し、その感動と興奮を永く記録にとどめ、大会開催の成果を鹿児島島の財産として未来へ継承する。</p>	<p><u>特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」広報基本方針</u></p> <p>特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」（以下「両大会」という。）の広報活動は、大会開催基本方針等に基づき、開催意義を広く県内外に周知し、その理解を深めることにより、両大会への参加意識の高揚を図り、県民の積極的な参加を実現するとともに、鹿児島島の多彩な魅力を全国に発信するため、次のとおり広報活動を展開する。</p> <p>1 県・市町村、関係機関・団体、企業、NPO、ボランティア等に加え、後継県との緊密な連携と協力のもとに、各種の広報媒体を計画的かつ効果的に活用し、両大会の積極的な広報に努める。</p> <p>2 報道機関との連携や多様なメディアの活用により、両大会に関する情報を迅速かつ広域的に伝達するとともに、鹿児島島の多彩な魅力を全国に発信する。</p> <p>3 両大会を象徴し、広く県民に愛されるような愛称やスローガン等の普及を図ることにより、両大会開催の気運を高める。</p> <p>4 大会報告書等を制作し、その感動と興奮を永く記録にとどめ、両大会開催の成果を鹿児島島の財産として未来へ継承する。</p>

余白

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・
特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごし
ま大会」広報基本方針（改訂案）

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」（以下「両大会」という。）の広報活動は、大会開催基本方針等に基づき、開催意義を広く県内外に周知し、その理解を深めることにより、両大会への参加意識の高揚を図り、県民の積極的な参加を実現するとともに、鹿児島県の多彩な魅力を全国に発信するため、次のとおり広報活動を展開する。

- 1 県・市町村、関係機関・団体、企業、NPO、ボランティア等に加え、後催県との緊密な連携と協力のもとに、各種の広報媒体を計画的かつ効果的に活用し、両大会の積極的な広報に努める。
- 2 報道機関との連携や多様なメディアの活用により、両大会に関する情報を迅速かつ広域的に伝達するとともに、鹿児島県の多彩な魅力を全国に発信する。
- 3 両大会を象徴し、広く県民に愛されるような愛称やスローガン等の普及を図ることにより、両大会開催の気運を高める。
- 4 大会報告書等を制作し、その感動と興奮を永く記録にとどめ、両大会開催の成果を鹿児島県の財産として未来へ継承する。

余白

**特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会
「燃ゆる感動かごしま大会」広報基本計画（改訂案）新旧対照表**

※ 変更箇所は、___部分

改訂前	改訂後
<p><u>第75回国民体育大会広報基本計画</u></p> <p>第75回国民体育大会広報基本方針に基づき、次の広報活動を積極的かつ効果的に推進する。</p> <p>1 愛称・スローガン等による広報 大会を象徴する愛称・スローガン等を<u>制定し、普及する。</u></p> <p>(1) 愛称・スローガン等の<u>制定及び普及</u></p> <p>(2) マスコットキャラクターの<u>制定及び普及</u></p> <p>(3) イメージソングの<u>制定及び普及</u></p> <p>2 印刷物等による広報 各種印刷物の作成及び既存の広報紙等を活用し、積極的な広報活動を展開する。</p> <p>(1) 広報紙の発行</p> <p>(2) ポスターの作成</p> <p>(3) パンフレット、リーフレット等の作成</p> <p>(4) 各種ガイドブックの作成</p> <p>(5) 県・市町村、関係機関・団体及び企業等の刊行物（広報紙等）の活用</p> <p>(6) 広報グッズ等の作成</p> <p>3 多様なメディアによる広報</p>	<p><u>特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」広報基本計画</u></p> <p>特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」広報基本方針に基づき、次の広報活動を積極的かつ効果的に推進する。</p> <p>1 愛称・スローガン等による広報 大会を象徴する愛称・スローガン等の<u>更なる普及を図る。</u></p> <p>(1) 愛称・スローガン等の<u>更なる普及</u></p> <p>(2) マスコットキャラクターの<u>更なる普及</u></p> <p>(3) イメージソングの<u>更なる普及</u></p> <p>2 印刷物等による広報 各種印刷物の作成及び既存の広報紙等を活用し、積極的な広報活動を展開する。</p> <p>(1) 広報紙の発行</p> <p>(2) ポスターの作成</p> <p>(3) パンフレット、リーフレット、<u>チラシ</u>等の作成</p> <p>(4) 各種ガイドブックの作成</p> <p>(5) 県・市町村、関係機関・団体及び企業等の刊行物（広報紙等）の活用</p> <p>(6) 広報グッズ等の作成</p> <p>3 多様なメディアによる広報</p>

報道機関との連携を密にし、迅速かつ広域的な情報の伝達に努める。

また、インターネットなど多様なメディアを活用し、より効果的な広報活動の展開を図る。

- (1) 新聞、テレビ、ラジオ等による広報活動の推進
- (2) 県・市町村の広報番組（テレビ、ラジオ）の活用
- (3) 専用ホームページの開設やSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

4 イベント等による広報

大会開催までの節目において、啓発イベントを開催するとともに、県民運動や各種イベントと連携した広報啓発活動を実施する。

- (1) 啓発イベントの開催
- (2) 出前講座等の活用
- (3) 県民（市町村民）運動及び各種団体・企業等のイベントとの連携

5 屋外等における広告物による広報

広告塔や横断幕等を設置して大会開催の広報に努める。

- (1) 広告塔、歓迎塔、歓迎アーチ等の設置
- (2) 横断幕、懸垂幕等の設置
- (3) 案内板、カウントダウンボード等の設置

6 映像による広報

県民の参加意識の高揚を図るため、映像を活用した広報を実施する。

報道機関との連携を密にし、迅速かつ広域的な情報の伝達に努める。

また、インターネットなど多様なメディアを活用し、より効果的な広報活動の展開を図る。

- (1) 新聞、テレビ、ラジオ等による広報活動の推進
- (2) 県・市町村の広報番組（テレビ、ラジオ）の活用
- (3) 専用ホームページの運用やSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

4 イベント等による広報

大会開催までの節目において、啓発イベントを開催するとともに、県民運動や各種イベントと連携した広報啓発活動を実施する。

- (1) 啓発イベントの開催
- (2) 出前講座等の活用
- (3) 県民（市町村民）運動及び各種団体・企業等のイベントとの連携

5 屋外等における広告物による広報

広告塔や横断幕等を設置して大会開催の広報に努める。

- (1) 広告塔、歓迎塔、歓迎アーチ等の設置
- (2) 横断幕、懸垂幕等の設置
- (3) 案内板、カウントダウンボード等の設置
- (4) 公共交通機関等を活用した車両広告等の実施

6 映像による広報

県民の参加意識の高揚を図るため、映像を活用した広報を実施する。

<p>(1) 前回国体（太陽国体）記録映像，国体先催県記録映像（DVD等）の貸出及びホームページ上での公開</p> <p>(2) 広報用映像（DVD等）の<u>制作及び貸出</u></p> <p>7 <u>記録映像等の制作</u> 大会の成果を永く記録にとどめるため，<u>記録映像等</u>を制作する。</p> <p>(1) 大会記録映像（DVD等）の制作及びホームページ上での公開</p> <p>(2) 大会記録写真集の制作</p> <p>8 参加章等の作成 大会の開催を記念し，大会参加章や記念章等を作成する。</p> <p>(1) 参加章，記念章等の作成</p> <p>(2) 記念グッズ等の作成</p> <p>(追加)</p> <p>9 その他 その他，広報基本方針に基づき，効果的な広報を実施する。 なお，大会開催時の報道活動に<u>関し，その円滑な運営を図るため，報道機関による組織を別途設置する。</u></p>	<p>(1) 前回国体（太陽国体）記録映像，国体先催県記録映像（DVD等）の貸出及びホームページ上での公開</p> <p>(2) 広報用映像（DVD等）の<u>活用</u></p> <p>7 <u>大会報告書等の制作</u> 大会の成果を永く記録にとどめるため，<u>大会報告書等</u>を制作する。</p> <p>(1) 大会記録映像（DVD等）の制作及びホームページ上での公開</p> <p>(2) 大会記録写真集の制作</p> <p>8 参加章等の作成 大会の開催を記念し，大会参加章や記念章等を作成する。</p> <p>(1) 参加章，記念章等の作成</p> <p>(2) 記念グッズ等の作成</p> <p>9 <u>後催県との交流による広報</u> <u>両大会の開催決定にあたり多大な御理解・御協力をいただいた後催県とのスポーツ等を通じた人的交流や，「双子の大会」を契機とした佐賀県との様々な交流（通称「エールプロジェクト」）により開催気運の再醸成を図る。</u></p> <p>(1) <u>後催県とのスポーツ等を通じた人的交流の実施</u></p> <p>(2) <u>鹿児島・佐賀エールプロジェクトの推進</u></p> <p>10 その他 その他，広報基本方針に基づき，効果的な広報を実施する。 なお，大会開催時の報道活動の<u>円滑化を図ることを目的に設置した報道機関による組織（報道委員会）を運営する。</u></p>
--	---

余白

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」広報基本計画(改訂案)

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」広報基本方針に基づき、次の広報活動を積極的かつ効果的に推進する。

1 愛称・スローガン等による広報

大会を象徴する愛称・スローガン等の更なる普及を図る。

- (1) 愛称・スローガン等の更なる普及
- (2) マスコットキャラクターの更なる普及
- (3) イメージソングの更なる普及

2 印刷物等による広報

各種印刷物の作成及び既存の広報紙等を活用し、積極的な広報活動を展開する。

- (1) 広報紙の発行
- (2) ポスターの作成
- (3) パンフレット、リーフレット、チラシ等の作成
- (4) 各種ガイドブックの作成
- (5) 県・市町村、関係機関・団体及び企業等の刊行物（広報紙等）の活用
- (6) 広報グッズ等の作成

3 多様なメディアによる広報

報道機関との連携を密にし、迅速かつ広域的な情報の伝達に努める。

また、インターネットなど多様なメディアを活用し、より効果的な広報活動の展開を図る。

- (1) 新聞、テレビ、ラジオ等による広報活動の推進
- (2) 県・市町村の広報番組（テレビ、ラジオ）の活用
- (3) 専用ホームページの運用やSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

4 イベント等による広報

大会開催までの節目において、啓発イベントを開催するとともに、県民運動や各種イベントと連携した広報啓発活動を実施する。

- (1) 啓発イベントの開催
- (2) 出前講座等の活用
- (3) 県民（市町村民）運動及び各種団体・企業等のイベントとの連携

5 屋外等における広告物による広報

広告塔や横断幕等を設置して大会開催の広報に努める。

- (1) 広告塔，歓迎塔，歓迎アーチ等の設置
- (2) 横断幕，懸垂幕等の設置
- (3) 案内板，カウントダウンボード等の設置
- (4) 公共交通機関等を活用した車両広告等の実施

6 映像による広報

県民の参加意識の高揚を図るため，映像を活用した広報を実施する。

- (1) 前回国体（太陽国体）記録映像，国体先催県記録映像（DVD等）の貸出及びホームページ上での公開
- (2) 広報用映像（DVD等）の活用

7 大会報告書等の制作

大会の成果を永く記録にとどめるため，大会報告書等を制作する。

- (1) 大会記録映像（DVD等）の制作及びホームページ上での公開
- (2) 大会記録写真集の制作

8 参加章等の作成

大会の開催を記念し，大会参加章や記念章等を作成する。

- (1) 参加章，記念章等の作成
- (2) 記念グッズ等の作成

9 後催県との交流による広報

両大会の開催決定にあたり多大な御理解・御協力をいただいた後催県とのスポーツ等を通じた人的交流や，「双子の大会」を契機とした佐賀県との様々な交流（通称「エールプロジェクト」）により開催気運の再醸成を図る。

- (1) 後催県とのスポーツ等を通じた人的交流の実施
- (2) 鹿児島・佐賀エールプロジェクトの推進

10 その他

その他，広報基本方針に基づき，効果的な広報を実施する。

なお，大会開催時の報道活動の円滑化を図ることを目的に設置した報道機関による組織（報道委員会）を運営する。